京城日報
朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地　發行所　合資會社京城日報社
編輯兼發行人　高宮太平　印刷人　仲俣

完戰の決意闡明
日獨の新事態對策完了

【東京電話】イタリヤ・バドリオ政府の米英に對する無條件降伏は日獨兩國に對する狡猾的裏切り行爲として世界の非難を受けつゝあるが、日獨兩國はもとよりかゝる背信行爲にいさゝかも動揺することなく、ひたすら共同戰爭遂行に邁進しつゝあり、十五日日獨共同聲明が堂々と全世界に發表され、戰ふ日獨兩國民の燃える決意を闡明した、今次共同聲明において
一、バドリオ政府の背信が三國條約にいさゝかも影響を與へないこと
二、三國條約はその效力に何らの變化なく存續すること
の二點が明確にされたことは日獨兩國の固い戰爭完遂の決意と合せて注目さるべきことである
バドリオ政府の無條件降伏に關しては去る九日の帝國政府聲明により帝國の所信は中外に顯示され、引つゞき十四日の大本營發表により大東亞各地に存在する伊國軍隊および艦船に關する緊急の措置を完了したのであるが、すでに帝國はバドリオ政府の降伏に伴ふ一切の善後措置が公表され、今回の日獨共同聲明によつてさらに日獨兩國は益々戰意を新たにしあらゆる手段を盡して最後の勝利を獲得するまでこの大戰を完遂するの決意と態勢を完結したのである、なほ日獨兩國の共同聲明中においては三國條約云々の用語がそのまゝ使用されてゐるが、右は同盟條約の固有名詞であつて唯法的に使用されたものにすぎないことをこの際銘記しなければならない

日獨伊三國條約（昭和十五年九月廿七日締結）

第一條　日本國はドイツおよびイタリヤ國の歐洲における新秩序建設に關し指導的地位を認め且つこれを尊重す
第二條　ドイツ國およびイタリヤ國は日本國の大東亞における新秩序建設に關し指導的地位を認め且つこれを尊重す
第三條　日本國、ドイツ國およびイタリヤ國は前記の方針に基く努力につき相互に協力すべきことを約す、さらに三締約國中何れかの一國が現に歐洲戰爭または日支紛爭に參入しをらざる一國によつて攻撃せられたるときは三國はあらゆる政治的經濟的および軍事的方法により相互に援助すべきことを約す
第四條　略
第五條　略
第六條　本條約は署名と同時に實施せらるべく實施の日より十年間有效とする

（昭和十六年十二月十一日調印）

第一條　日本國、ドイツ國およびイタリヤ國はアメリカ合衆國および英國により強制せられたる戰爭をその取り得る一切の強力手段をもつて勝利に終るまで遂行するべし
第二條　日本國、ドイツ國およびイタリヤ國は相互の完全なる諒解によるに非ざればアメリカ合衆國および英國の何れにも休戰または講和をなさざるべきことを約す
第三條　日本國、ドイツ國およびイタリヤ國は戰爭を勝利をもつて終結したるのちにおいても亦一九四〇年九月廿七日に締結したる三國條約の意義における公正なる新秩序招來のため最も密接に協力すべし
第四條　略

衆議院協議會

【東京電話】衆議院では十五日午前十時より院内で議員協議會を開き、岡田、内ケ崎正副議長、大木書記官長ならびに各協議員出席
一、陸海軍病院慰問に關し來月中正副議長が衆議院を代表して全國の陸海軍病院を慰問する
一、皇族殿下ならびに遺族殿下の御災害見舞
につき衆議院から代表を派遣することゝなり追つて代表決定する旨申合せ正午散會した

各盟邦、帝國に同調

【東京電話】帝國政府はバドリオ政府の裏切行爲に對し、歐洲におけるドイツの軍事的措置に呼應して東亞各地における伊國の武裝解除、船舶抑留、伊國權益の接收、伊國居留民の保護監視などの諸措置を取つた旨十四日大本營より發表されたが軍隊の武裝解除、艦艇の抑留以外の措置の大要はつぎの如くである
すなはち占領地域を除く各地においてはわが方は各盟邦の伊國權益接收に協力したが、各地を通じて一般的に行はれた措置は伊公館員に對する無電、文書の封印、館員の自宅における監視、暗號電報の禁止、電話切斷、一般伊國權益の封印、預金拂出の停止、一切の爲替取引の停止などで右の一般的措置は別個に各地においてその事情に應じてつぎの如き措置が講ぜられた

滿洲國　我方の措置に同調し伊公館に對しては保護監視をなし、居留民の家屋檢索を行つた

中華民國　國府はさきの帝國政府聲明に呼應して汪主席の聲明を發表したが、具體的措置としては天津において伊租界周邊を中國側で封鎖し、これを特別行政區として租界工務局、警察、商工會議所、學校、教會、倶樂部その他を接收、また漢口ではステファニ通信社を閉鎖、南京、北京、上海各地においては一般的措置をとつた

タイ國　九日警視廳令を公布し一般伊國人はその家屋に於て官憲の保護を受け許可なくして外出を禁止した、また電話を切斷し無線受信機は當局が保管、伊國人所有の銃器彈藥は警察當局がこれを保管した

佛印　十日ドクー總督に對しわが方が伊國を實質的敵國として取扱ふ旨ならびにわが方の講ずる措置を通告し、日佛印軍事協定第九條に基きわが方措置への同調を求めた、これに對し佛印側では全面的措置を即時實施した

ビルマ　澤田大使からの通告によりバー・モウ國家代表は直ちに緊急閣議を開催、ビルマ國政府聲明を發表した

大東亞地域の伊居留民權益

【東京電話】大東亞地域における伊國居留民、伊國權益の大部分は中國にあるが、その狀況は左の如くである
▲伊國人　北支三〇一、中支六四一、南支六四計一〇〇六
▲伊公館（大使館）南京、北京（總領事館）上海（領事館）漢口
▲伊國權益　中國における伊國權益は天津租界、上海、廈門鼓浪嶼共同租界に附隨してゐたが、このうち上海に權益の七割が集中され銀行、船會社、保險會社、貿易商が若干ある、對華投資は事業投資、借款を合して約九千萬圓といはれてゐる
このほか天津、上海に無電台があり、また同じく上海、天津のパイアライは伊國權益のうち特異なものである

泰國陸軍が管掌
マライ四州行政要領發表

【バンコック十五日同盟】泰國最高軍司令部はマライ四州司政長官の發表とともに行政要領につき左の如く布告した
一、四州の行政は泰國陸軍がこれを管掌す
二、各州の行政は各司政官がこれを行ふ
三、司政長官は各司政官を指揮監督す、司政長官は現地陸軍司令官の指揮に從ふ
四、司政長官は四州の行政につき同地方の從來の行政方法と泰國の行政とを取捨選擇し、同地方の情勢ならびに住民に適合せる如く思惟する行政方法を決定する權限を有す
五、司政顧問は一般事務につき司政長官を補佐す
六、武裝警察司令官は全般警察事務につき司政長官を補佐す

四州司政長官任命

【バンコック十五日同盟】泰國最高軍司令部は十四日附官報をもつて今回泰國領土に編入されることとなつた、なほマライ四州の司政長官、各司政官の任命を左の如く發表した
司政長官　カモン・サラパイ　リテイカン・テヨ
司政顧問　テカサテイエン陸軍少將　モムラチヤオン・チヤラムラープ
武裝警察司令官　ターウイオン陸軍大尉　チヤイアム・リンプテヤ
ケダー州司政官　タート警察大佐　プラムナート
ペルリス州司政官　ロン警察少佐　チヤンチヤン・チヤイネヤツ
トレンガヌ州司政官　ク陸軍大尉　プラニーン・ラウナサツト
ク陸軍大佐　今回司政長官として四州軍政の統括に當ることとなつたカモン陸軍少將は現在參謀次長、日泰連絡事務局次長の要職を占める泰國陸軍の中堅である

首相代理任命

【バンコック十五日同盟】泰國政府は十四日勅令を以て内務省副大臣兼總監アツフ・アツンデツト・チヤラツト氏を現職のまゝ首相代理に任命、さらに産業省次官モムルアン・クリ・デチヤテオン少將を產業省副大臣に任命する旨發表した

ボリビヤ内閣總辭職

【ブエノスアイレス十四日同盟】ラ・パス來電＝ボリビヤ内閣は十四日總辭職した、既に八月末カタビ鑛山の不正の關聯して全閣僚は大統領ペニヤランダの手許へ辭表を提出したのだが、大統領はこれが受理を延期したものである

敵軍事施設を覆滅
海鷲 フナフチ島、ガ島、ル島 夜間急襲

【南太平洋〇〇基地十五日同盟】わが海軍航空部隊は十三、四の兩日夜間五回にわたりエリス諸島フナフチ島の飛行場、軍事施設を急襲、軍事施設一箇所を大爆破、二箇所に火災を生ぜしめたほか二箇所を爆碎して全機無事歸還した、さらにわが海軍航空部隊は十三日夜間ガダルカナル島、ルッセル島を急襲、飛行場各所に命中彈多數を浴びせ、兩島の各一箇所に大火災を生ぜしめた

第二のダンケルク
サレルノ反樞軸軍全滅に瀕す

【ベルリン十四日同盟】サレルノに上陸した反樞軸軍はドイツ軍機甲部隊の猛烈な反撃をうけ、全滅に瀕するに至つた、ドイツ軍筋の情報によれば、サレルノ南方に橋頭堡を確保した米軍は損害甚大で到底これを維持し切れないので海上に逃げのびることになる模様であり、第二のダンケルクの運命は刻々に迫つてゐる、サレルノとアマルフイ間の地帶に上陸した英軍の情勢も同樣でペサロ方面の米軍が海につき落されゝば英軍も撤退するの已むなきに至るであらう、反樞軸軍の被つた損害はすこぶる甚大で、ドイツ軍當局の算定では米軍の戰死八千乃至一萬、これとほゞ同數が捕虜になつてゐる

壓倒的の米軍兵數

【ベルリン十四日同盟】サレルノ灣頭の戰ひに關聯しドイツ軍當局筋の情報を綜合すれば戰況は次の通り
クラーク中將麾下の米第五軍は米軍中六、四十五兩步兵師團、戰車第一師團の編成をもつて八日夕刻以來ナポリ沖合に蠢動を開始した、想ふにイタリヤ傀儡政權との間に休戰協定が出來たので米軍は簡單にナポリ灣頭に上陸内應するイタリヤ軍と協力してイタリヤ南部におけるドイツ軍を捕捉殲滅する意圖だつたと解される、すでにドイツ空軍は八日夕刻同方面を偵察して米軍の企圖を察知、次で九日擁護反樞軸軍の輸送船團に猛烈果敢な集中爆撃を加へ、無抵抗上陸を豫想してゐた米軍に多大の損害を與へた
但しクラーク中將の麾下には米第三ケ師のほかに英軍第一、第四、第十五、第五十六、各步兵師團ならびに第一戰車師團から成る英第十軍も參加し、兵力が壓倒的に優勢なのでイタリヤ南部、駐屯ドイツ軍總司令官ケツセルリング元帥は麾下の部隊に對し海岸線全般を防備することを斷念し、サレルノ灣東方ならびに北方の高地を死守するやう指令した

猛爆、補給を斷つ

反樞軸軍は九日以來逐次サレルノ灣東方を確保、戰車ならびに步兵を合せて七ケ師團の揚陸に成功したが、その後英軍はサレルノ市から北方ならびに西方に向つて橋頭堡を擴大することを企圖し、米軍はエボリ南方の高地に向つて追擊し、ドイツ軍陣地を突破してポテンツアに到達しようとした、これに對しシチリヤ島において歷戰の勇猛なゲーリング機甲師團は山岳地帶の堅陣によつてあくまで防戰に努めたが、十一、十二の兩日には數を恃む米軍の攻撃が極めて猛烈でしばしばドイツ軍陣地の側面を脅かした、米軍は九月十三日拂曉以來最後の總攻擊を企圖したが、人員機材の兩面にわたる連日の損害がやうやく表面に現はれ、十三日正午に至つて米軍の戰力は著しく弱體化するに至つた、しかもドイツ軍爆擊機隊の猛烈な攻撃により米軍に對する海上からの補給も極めて困難に陷つた
ドイツ軍司令部は米軍の攻勢がやうやく終末に到達したと見るや一齊に總反攻に轉じ、殊に戰車部隊ならびに機甲部隊は放膽な作戰に出て山岳陣地から雪崩の如く殺到した、米軍は攻勢の企圖が挫折したのを見て斷濠戰に移らうとするところであつたが、ドイツ軍は米軍に立ち直る餘裕を與へず、米軍陣地を四分五裂の狀態に陷らせ、海岸地帶の陣地までも奪取するに至つた

寸斷されて潰走

米軍はドイツ軍のために寸斷されて小さな戰鬪集團に分裂し海岸地帶に脫出して船舶に避難しようとしたが、ドイツ空軍の爆擊によつて甚大な損害を被つた、海岸地帶に至る各道路は米軍の遺棄した武器で一ぱいだつたといはれるが、ドイツ軍は十三日夜も米軍の進擊を續行數千の米軍はドイツ機甲部隊の迂回作戰により捕捉されてほとんど半數に近い捕虜を出したと傳へられる、一方サレルノ橋頭堡の北翼は英軍が確保し有力な戰車ならびに機械化步兵部隊をもつて西方ピエトリに向つて進撃し、同地點から北方に轉じてノチエラ北方の平原地帶に到達して橋頭堡を擴大しナポリ地區を奪取しようと企圖した、ドイツ軍司令部は正確な情報判斷に基き兩方面から強力な反擊を加へ、英軍をピエトリ附近の海岸地帶に壓迫した、英軍はソレント半島の西端に增援部隊を揚陸し海岸線に沿つてアマルフイ地區に前進しようとしたが、ドイツ軍の頑強な防備に遭つて一旦ピエトリ地區に壓迫されて機甲部隊を展開することが出來ない狀態だ
英軍は有力な戰車部隊をもつてサレルノから北方に進擊を企圖したが、ドイツ軍はサレルノ市附近において英軍を包圍、十字砲火を浴びせて英軍に甚大な損害を與へた、すでにエボリ南方ならびに東南方における米軍の陣地が崩壞した結果同方面のドイツ軍も英軍に對する攻擊に參加することが出來ると見られるからサレルノ灣頭における反樞軸軍の上陸作戰はこゝに全面的な崩壞に瀕するに至つた

御差遣宮殿下台臨
きのふ陸海各校卒業式

久邇宮殿下　海軍兵學校

【江田島電話】わが無敵海軍に新たなる精強を加ふ海軍兵學校第〇〇期生徒の晴の卒業式は畏き邊りより御差遣の久邇宮朝融王殿下の台臨を仰ぎ、十五日嚴肅盛大に擧行された、この日久邇海軍少將宮殿下には御軍裝御凛々しく南雲呉鎭守府司令長官などを隨へさせられ、午前十時君が代奏樂裡に御上陸、文武顯官、在校教職員、生徒など堵列奉迎裡に井上校長の御先導にて軍艦旗奉掲式ののち加藤隆義海軍大將、海軍大臣代理澤本賴雄海軍中將、南雲呉鎭守府司令長官など扈從申上げ、一旦御休憩室に入らせられ、御身をもつて同校に御成り御差遣宮殿下と御對面の御のち、加藤大將、澤本中將、南雲呉鎭守府司令長官、井上校長など有資格者に單獨賜謁、兵學校職員など有資格者に列立拜謁の榮を賜つた
ついで同十時四十五分井上校長の御先導にて式場講堂に成らせられ、殿下台臨の下に井上校長から卒業生一同に對し卒業證書を授與、恩賜の短劍は和泉正昭（鹿島縣）生徒など十餘名に御附武官から下賜、卒業式は終り御差遣宮殿下には澤本海軍次官が代奏樂裡に御退出、御休憩の御のち同十一時五十五分御機嫌麗しく御歸還あらせられた
殿下を御見送り申上げたのち卒業生一同の前途を祝して盛大な茶菓の宴が催されたが、終つて一同は在校職員生徒參列者に見送られ懷しの兵學校を後に必勝の決意に燃えつゝ海上部隊へと巣出した

朝香宮殿下　陸軍航空士官學校

【所澤電話】埼玉縣豐岡町修武台の陸軍航空士官學校では十五日午前九時半より畏き邊りより御差遣の朝香大將宮殿下の台臨を仰ぎ卒業式を擧行、御差遣宮殿下には○○生坂倉信雄中尉の『航空兵の戰技の精粹について』の御前講演を聞召された後、卒業式場に御成り、菅原校長より卒業證書を授與、ついで御差遣宮殿下には御附武官をして左の優等生五名に對し恩賜品を傳達せしめられた
第〇期特別志願將校學生
陸軍中尉　坂倉　信雄（山口）
第〇〇期學生
陸軍准尉　齋藤　辰雄（富山）
陸軍曹長　竹内　敏雄（和歌山）
同　飯田　和雄（栃木）
同　角田　三郎（京都）

高松宮殿下　海軍機關學校

【舞鶴電話】畏くも高松御差遣宮殿下の台臨を仰ぎ奉る海軍機關學校卒業式は十五日午前十時五十五分から同校講堂で海軍大臣代理及川海軍大將など參列、嚴肅に擧行された、この日殿下には諸員奉迎裡に九時廿八分御着校、及川大將以下有資格者に單獨賜謁、同十時五十分式場に御成り、鍋島校長より生徒總代青木光雄、學生總代岩武窒之機關兵曹長にそれぞれ卒業證書ならびに修了證書を授與、引續き御下賜品拜受式あり同十八分閉式、殿下には諸員奉送裡に御歸校水交社に成らせられた

決死隊十名と特殊連絡機
標高九千五百餘呎の山砦へ突入

ムッソリーニ統帥救出詳報

【ベルリン十四日同盟】ムッソリーニ統帥の救出につきその後ドイツ軍當局筋が言明するところによれば、オーストリヤ生れの親衛隊大隊長を司令とする決死隊がアペニン山系の最高峰グラン・サツソー・デイタリヤ（イタリヤの大きな岩）へ一擧に飛び込み、フイーゼラー・シュトルヒ機によつて漸く救出成功したと傳へられる
同大隊長はヒ總統からムッソリーニ統帥救出の命令を受けるや早速統帥の消息を追つたが、統帥の親戚、知人を尋ねて漸く統帥が八月廿八日ポン・マダレーヌ島から標高九千五百六十呎といはれるグラン・サツソー山内に移されたことを探知した、統帥が監禁されてゐる地點に近づくのには登山鐵道によるほかはないが、この鐵道は早くも運行を停止されてをり、かつ何時でも高い地點にある停車場で下から登つて來る列車を脫線顚覆させることが出來るので、この鐵道を利用することは出來ない、從つて背後の溪谷を攀ぢ上つて密かに目的地に到達するほかはないのだが山砦には數百名のイタリヤ軍憲兵隊が嚴重警戒してゐるので假に目的地に到着出來ても無事統帥を救出することは殆ど絕望に近かつた
そこで親衛隊長は空中から仔細に地形を硏究したのち特殊連絡機フイーゼラー・シュトルヒ機を使用すると決定した
大隊長は十二日午後二時十分僅か九名の手勢を率ゐて山砦に乘込み、ム統帥の面前に現はれ
ドウチエ、と總統は閣下を救出するために自分を派遣した、閣下は今や自分の支配下にあり萬事順調に運ぶことを祈る
と述べたところ流石の統帥も痛く感激し
ヒ總統が余を救ひ出すためあらゆる手段を講じて呉れたことを衷心から感謝する
と答へ、直ちに用意のフイーゼラー・シュトルヒ機に乘り移つた、山砦の附近は僅かに狹い廣場があるだけで離陸は極めて困難であつたがフイーゼラー・シュトルヒ機は優秀な性能を發揮し無事統帥救ひ出しの離作業を成し遂げた

滿洲國皇帝陛下
日滿顯官に賜謁賜餐

【新京十五日同盟】滿洲國皇帝陛下には第十一回承認記念日の十五日午前十一時半帝宮內廷にて梅津關東軍司令官兼大使と御會見、ついで勤民樓において木下中將以下日本側有資格者に單獨ならびに列立謁見を賜はり、豐樂殿において滿洲國側張國務總理、武部總務長官以下各部大臣、參議に陪謁を許され、一同に午餐を賜つたが、陛下には時局まことに重大の折から滿洲國は日滿一體の盟誼にもとづきすべてをあげて親邦日本の大東亞戰爭完遂に協力すべき旨の固き御決意を示させ給ふ御言葉を賜ひ、日滿顯官と種々御歡談あらせられた趣と承る

谷大使空路東上

【南京十五日同盟】谷駐華大使は當面の日華關係緊密化に關し中央部と要務打合せのため十五日朝空路東京に向つた

民心に落着き　福岡で語る

【福岡電話】新生支那の現狀報告と今後の諸施策打合せのため中華大使谷正之氏は十五日午後上海より雁ノ巣到着後、空路東上したが記者團に對し左の如く語つた
新支那の現狀は大體うまくいつてゐると思ふ、今後の問題として低物價、インフレ防止に萬全を期さなくてはならぬ、物價はさきごろ昂騰傾向から大體安定に向ひ、最近は民心も落着きつつあり、イタリヤの租界は本國の對米英降伏とともに今度接收されたがこれで支那に於ける外國租界は全部支那の手に入つたわけだ、かくて政治的には新中國も漸く自主的建設段階に入つたのであるが、然し未だ第一歩を踏んだに過ぎない、今後の經濟問題解決が何よりも重大である

青木大東亞相放送

【東京電話】青木大東亞相は日滿議定書の調印記念日たる十五日午後七時半から中央放送局のマイクを通じ『滿洲國承認記念日に當りて』と題し放送演說を行ひ、建國以來十一年の滿洲國の逞しい躍進に對し祝意を表するとゝもに物心兩面にわたるその對日寄與につき謝意を述べ國際戰局の推移に對處して日滿一體不可分關係を愈々緊密にし相攜へて大東亞戰爭完遂に邁進すべき決意を披瀝した

マルチニツク總督任命

【ブエノスアイレス十五日同盟】フオ・ド・フランス（マルチニツク島）來電＝フランス解放委員會はロベール提督の後任としてルイ・グロソを任命、フランス領アンテイル群島一帶の支配權を掌握させる旨十四日發表した

社説
必勝の信念に就いて

一

世界の戰局は太平洋戰線、歐洲戰線ともにいよいよ決戰段階となりかつ『食ふか食はれるか』の慘憺苛烈な樣相を呈するにいたつた。本年が『決戰の年』であることはいまさらに現實の事實となつたのであり、國の運命民族の興亡を決すべき歷史的瞬間は刻々に近付きつゝあるといはねばならない。この秋に當つて我々日本國民は『臨戰上三年』と宣せられた宣戰の大詔を繰返し奉誦し肺腑不滅の傳統精神をいよいよ堅く把持する所がなければならない。所謂必勝の信念の生れる根本はこゝにあるのである。

二

然るに往々戰局の頂々たる動きに一喜一憂し確かし必勝の信念を固めるが、反對に少しでも戰局が不利になれば『必勝の信念』をぐらつかせるといふやうなかしな必勝の信念の持主を見受ける事必ずしも絕無としない。形はいかにあれ、かゝる『必勝の信念』は決して日本人の持つべき、また持たねばならない必勝の信念ではない。誠に甚だ多い語であるが、ただ大詔を表面的形式的に奉誦するだけでは本當の必勝の信念は決して捉へられるものではない。

三

ではその心構へ、行ひとは何であらうか。我々はそれを何よりも明白に前線の將兵諸氏から學ぶ事ができる。前線の將兵は日本の一の兵力に對し三の兵力それに加へる〇乃至〇倍に匹敵する航空兵力、火砲の數彈に對抗しつゝ、しかも第一線の兵隊の感想は『米國兵は滿洲兵より下で滿洲兵は支那兵に劣り戰術的には支那以下である』のであり『米』を問題にしない我が將兵諸氏が敵の物量と量を抑へるだけの彈藥を手にした時戰鬪にはすでに勝てる』といふ確固たる必勝の信念を持つてゐるのである。もし戰局の波瀾によつて必勝の信念がグラグラするものとすれば戰局を如何に困難する將兵諸氏が第一番に信念を失ふべき筈である。

四

だが事實はまさにその反對である。ではかうした鐵のやうな不動の信念は如何にして確立したのであらうか、事はある意味では極めて簡單な事柄である。將兵諸氏が　上御一人の御爲めに惜みなく身命を奉遵する心構へを持つてゐるといふ事、心構へを持つてゐるというだけではなくそれを憎むべき敵兵との戰ひの中に生々と生かし通す現實の行ひをやりとげること、これである。この心構へとこの行ひこれを通じてこそ將兵諸氏は『必ず敵兵を負かし得る』といふ確信を得たのであり、從つて何事が起らうと微動だにしない必勝の信念を摑んだのである。我々銃後人たるもの此點を深く反省する要はないか。戰局の一動一波に徒らに神經過敏になる事はまだ本當に皇國臣民になりきつてゐない證據ともいへる。

五

正しい必勝の信念は、我々が陛下の御爲めにすべてを捧げる心構へを持ち、その心構へを各自の職域に於いて立派に生かしきるといふ行から始まるのである。本當に、單に言葉としてでなく、まさに各自の職域戰に於いて我々が敵に勝つた事であり、またそれを身を以て知りかつ實現したことにほかならない。敵に必ず勝つといふ不動の信念は、このやうに『內から』體まれるものであつて、決して『外から』與へられるものではないのである。各自が職域に徹することがすべての始めであり終りであることをこゝでも再思しなければならない。

赤機九十二機擊墜

【ベルリン十五日同盟】ドイツ軍當局は東部戰線のドイツ軍が十四日の戰鬪でソ聯機九十二機を擊墜した旨十五日言明した

赤軍戰車三百餘台擊破

【ベルリン十五日同盟】ドイツ軍當局は十五日東部戰線のドイツ軍が十四日の戰鬪で赤軍戰車三百三台を擊破した旨言明した

勃國、故國王の御遺志繼承

【ベルリン十四日同盟】ブルガリヤ、ソフイヤ來電＝ブルガリヤ新內閣は十三日午前ソフイヤ城においてキリル殿下に謁見、殿下は攝政府において任命された最初の內閣に對しボリス三世の御遺志にもとづき故國王の施策方針を繼承する旨述べた

消息

◇池邊龍一氏（東拓副總裁）十八日『興亞』で入城
◇宮崎一郎（鮮銀副總裁）十七日『興亞』で歸任
◇臨瀨博氏（朝郵社長）出張中十三日夜歸城
◇木谷重榮氏（朝木社長）咸南北出張中十四日歸城
◇柴谷佐平氏（同上）山出張中十五日歸城
◇石田千太郎氏（朝）咸北出張中十五日

運轉綜合基準制定
日滿支鐵道關係協議會

【東京電話】決戰下大東亞共榮圏の鐵道輸送力增强とその統一を期するため鐵道省、滿鐵、鮮鐵、華北交通、華中鐵道、台灣の六鐵道首腦者代表は、十四日より十八日の五日間にわたり鐵道省に第六回日滿支鐵道運轉關係規程協議會を開催中であるが、今回の主要審議項目は、日滿支を通じて鐵道關係諸法規を總括的に基礎し、日滿支三國を通ずる輸送能力の確保增强を目的としてゐる、しかしてこの結果資材の節約ひいては戰力增强を期し、戰爭の直接兵器たる鐵道の機能發揮に大きな役割を果すべく、列車の運轉に關する綜合基準の制定はその關係範圍が廣汎で施設改修の問題もあり、加ふるに各鐵道の傳統があるが、これに關しては各鐵道側より草案を持ち寄り大乘的見地に立つて審議中であるから、日滿支鐵道運轉規程基準は速急に實施されるであらう

しかして鐵道省ではこれと併行して大東亞共榮圏内の鐵道從業員を指導養成中であり、日滿華間の職員相互連絡もその能率增進も大いに期待されてゐる

滿洲中銀課を部に昇格

【新京電話】滿洲中央銀行では今回機構改革を決定昨十五日より實施することになつたが今次機構改革の要點は次の通り

一、現行の考査部秘書室を統合總務部を設置す
一、現行の人事課を人事部と改稱す
一、現行の業務課、國庫課ならびに監理課中普通銀行等業務關係をもつて業務部を構成す
一、監理課中の貯蓄關係事務をもつて國民貯蓄部を構成す
一、現行の檢査課を監査部と改稱す
一、現行の發行課を發行部と改稱す
一、現行の會計課ならびに資金統制課を統合し資金部を設置す
一、現行の計算課、庶務課、營財課を統合し經理部を設置す
一、現行の調査課を調査部と改稱す

中央水産業 創立總會

【東京電話】水産業團體法に基く中央水産業會の第二回設立委員會は十四日農相官邸に開催、委員長を互選の結果、中村[illegible]三氏當選諸般の打合せを行つて設立準備に着手したが、二十三日午後二時第二回委員會を開いたのち二十五日午前十時大東亞會館において創立總會を開催することゝなつた

未加入電力買收
朝鮮電業發足體制成る

朝鮮電業株式會社の設立母胎以外の電力會社たる江界、漢水、南水、朝電及び京電一部に對する買收工作は總督府、電業會社、當該各社と折衝中であつたが、このほど三五社代表者との間に讓渡價格の關係者間の意見一致を見たので十四日から本府内で第二回朝鮮電力評價委員會を開き、讓渡價格を決定總督府の認可を受けることになつた、讓渡價格の認可指令は廿五日までに下ることになつてゐるので、廿一日午前零時現在を以て事業引繼ぎを行ひ、茲に買收を完了することになつた

なほ廿一日午後一時から各社より吸收せる朝鮮電業從業員を招集して嚴肅なる從業員結成式を擧行し鮮内發送電の一元的統制による新發足の意義を具現する筈である

企業整備委員會幹事會
各綱目を協議

企業整備の根本要綱を決定すべき第一回企業整備委員會幹事會は、十五日午後一時半より本府第一會議室で主務幹事山地商工課長等卅九幹事出席の下に開催、附議事項として

一、企業整備基本要綱
二、配給部門整備要綱
三、中小工業整備要綱
四、共助金措置要綱
五、整備資金の措置要綱
六、勞務者對策案
七、整備資金の吸收方對策案

を中心に主として山地幹事が内容を説明し、各幹事より意見開陳があり、各綱目とも原案通り決定同五時散會した、なほ第一回委員會は幹事會決定案の整理を終つたのち開くことになつてゐるので廿日前後に開催する豫定である

滯貨一掃が急務
木材增産に重點配車を要望

目下展開中の木材增産運動に朝鮮木材社では、眞崎社長以下幹部が現地に出動、營林と增産隘路の探究に當つたが、これらの報告を綜合するに、木材增産は結局輸送の如何に懸つてをり、白茂線を初めとする生産地鐵道沿線に山積する滯貨の一掃が急務であることが指摘され、これに對應する配車その他生産資材の重點的配給が最も强く要請されてゐる、而して伐採部門は立木所有者と生産業者たる伐採業者が異るため、多少の不圓滑を免れないとはいへ、この點は著しく圓滑に進捗してをり、特に從來保有林として著名であつた南中幽下等など國有林さへが、大規模に伐採されつゝあるが、進捗する增伐に對して河道り、森林鐵道、林道等の搬出施設が間合しない點が隘路として指摘されてゐる

一方、食糧並に飼料も目下のところ大體圓滑に配給されてゐるが、根本的には林業勞務者をも重要鑛山工場並に重點施設に指定することが食糧のみでなくすべての重要物資配給問題を解決する鍵であるとされてゐる

早場米督勵
東拓最後指導に

東拓では黃海道の五萬石を重點に[illegible]

取扱ひ種類も決定
有價證券施行規則實施

戰時有價證券取引機構を確立するため總督府ではさきに有價證券取引市場の根本的改革を斷行したが、さらに市場外の有價證券の取引の健全化をはかり、もつて戰時下有價證券取引に萬全を期することとなり、右に關する朝鮮有價證券取締令(制令)を九月十日公布、引つゞき十五日同施行規則を發布、即日實施した、施行規則の主なる點次の通り

一、本令に於いて有價證券業の取扱ふ有價證券の種類は次の通り(イ)國債證券(ロ)地方債證券(ハ)社債證券(ニ)特別の法令により設立せられたる法人にして會社に非ざるものの發行する證券(ホ)株券(ヘ)外國または外國法人の發行する證券にして前各號の證券の性質を有するもの

一、有價證券業者はその免許を受けたる日より六ケ月以内に開業せず、または引つゞき六ケ月以上休止したるときはその免許は効力を失ふ

一、有價證券業者は左の區別に從ひ、保證金を供託所に供託すること
(イ)京城府にある營業所については七千圓
(ロ)その他は五千圓

一、有價證券業の免許を受け十五日以内に供託受領證を提出せざるときは免許はその効力を失ふ

一、有價證券業者は營業所に[illegible]賣買またはその媒介に關する事項を記載すること

なほ施行規則第二十一條の規定の整備および二十二條の規定は昭和十九年三月三十一日までは適用しない

戰勝の鍵は生産と科學戰
巣立つ學徒に栗原大佐訓示

【東京電話】戰列から新しく出發しようとする學徒[illegible]なる決戰場へ巣立つ本年度東大卒業生に對する出行會は十三日午後一時から同校で新卒業生約二千名に對して行はれた、國民儀禮ののち栗原海軍報道部課長、鄕古〇〇重工業社長の出行講演があり若人に異常な感激を與へたが特に『大東亞戰爭の現段階』と題した栗原大佐の講演は戰ふ若人の新世界觀に多大な示唆を與へた、講演要旨次の通り

現在の歐洲戰局の教訓は如何に人的物的の大消耗戰が各所に展開されてをりその裏面に大生産戰大補給戰が行はれてをるかを物語つてゐる、實に生産戰を決定的に勝拔くことが今後の戰爭の眼目であるが生産戰と戰ふものは結局人間であり從つて都市の盲爆による人的資源の消耗戰術がハンブルグ、ベルリンの空襲にも看取される、電波探知機の出現によつてドイツの對米英船舶の擊沈數が低下したことにより科學戰の教訓をうける、かやうな教訓からわれ〳〵は生産戰と科學戰の勝利としては今後の總力戰の勝敗を決する鍵であることを知り有能な思想行政に國家が期待するところも正にこの點である、大東亞戰爭勃發前に遡つて戰爭の原因を考へるに米國の隔離の禁輸による經濟戰爭が事實上の戰爭の開始であり、戰ひ合ひの始まる以前に戰爭が開始されてゐたことを發見する、國民はもつとこの點を認識すべきであつて恐しき資源の日本が總力戰に對する過去の認識不足を克服して不敗の總力戰體制を整へたのが緒戰當時の重大意義であり現在は敵とやつと四つに組んだ時なのである、戰爭はこれから始まつたのである、米國の生産力は非常に大きい、資源も大きいわれ〳〵は航空機船舶增産による制海制空權の確保により科學戰においても敵を制壓しもつて歐洲戰局の與へた役割を生かし勝たねばならない

陸軍少年飛行兵(上)

[illegible]たといふことである、體格檢査、學科試驗を通過し[illegible]まづ二年間基礎訓練を受けた[illegible]三年目から飛行機操縱の初歩に入り、少年飛行兵として一[illegible]、教育を三年間受けたとき、[illegible]て實戰に參加する各航空部隊へ配屬され、そこで本式の訓練[illegible]返されて一人前の航空兵になる[illegible]である、少年のうちからしつ[illegible]訓練をもつた航空隊の中堅幹部[illegible]基礎訓練から積みあげて立派[illegible]成するといふことが少年飛行兵[illegible]使命である、少年飛行兵が初め[illegible]る學校は東京の村山村にある[illegible]校は遠く富士山が見える樓と松林に圍まれた靜かな所にあり、[illegible]もの中隊兵舎がならび自習室、講堂、醫務室、食堂なども完備してゐる

重要な基礎教育

東京陸軍航空學校は滋賀縣大津市に大津教育隊といふ分教場があつて、一部の者はこゝで教育されるが、この學校の目的は將來陸軍航空兵の幹部として必要な德操、性格、氣魄を磨くことを主にしてゐる、午前中は普通學、午後は軍事學と教練、そのほか航空兵は頑强な體力を要するから保健には非常に氣を配り、毎日教官の指導で劍術、銃劍術をやらせたり、ぐる〳〵廻る「フービー」などを盛んにしてゐる、規則正しい生活と嚴格な教育の結果、一ケ年でこの學校を卒業すると學力の點で[illegible]は國民學校六年修了程度のものが大體に中學三年程度に進み、體力も皆一樣に筋肉隆々とし精神、肉體ともに立派な帝國軍人としての資質を備へた若鷲の卵が完成する、普通部隊では兵一人の賄料を一日廿七錢五厘にしてゐるがこの學校では卅六錢六厘も費つてゐる、如何に生徒の體力向上に氣を使つてゐるかゞわからう

海陸運送業一元化
朝運總會で最後的決定

かねて關係方面の視聽を集めた海陸運送業の一元化問題は、[illegible]朝鮮運送を母體とし釜山港運會[illegible]

[illegible]あるので、これを補ふため[illegible]の株主に對しては同社所有の[illegible]株式約五萬株を[illegible]朝鮮總督の許可を得られる價格で昭和十八年九月十四日現在の株主に對し、その所有株式の拂込額に應じ[illegible]讓渡することゝし、[illegible]の件は十月一日から合併、實行日たる十二月一日まで十港運會の業務を朝運が委任經營することになつた、なほ取締役五名、監査役一名を增員選擧の結果左の諸氏が選任された

取締役池田芳木(釜山港運代表取締役)荒木弘(仁川港運同)大浦秋吉(鎭南浦港運同)淺見一雄(木浦港運同)森井武次(朝鮮運送監査役)▲監査役大溪省三(釜山港運代表取締役)赤城健輔(朝運考査室長)

會長制を新設

朝運では來る廿九日午前十一時より古市町本社に第廿回臨時總會を開き、取締役會長および專務取締役制新設に伴ふ定款變更、同社經營にかゝるトラック事業の分離獨立による株主への株式一部讓渡の件、取締役、監査役の報酬總額改正の件を附議する

朝運記念配當

朝運では釜山港運ほか九港運會社との新設合併を記念するため年五分の特別配當を行ふことに内定、十一月の定時總會に附議して正式決定する

雜穀類供出督勵
用特配綿布割當

[illegible]鮮内各地から相當大量の早場米を供出することになり、十七日から[illegible]を先頭に月末まで鮮内各[illegible]で右に關する現地打合會を開[illegible]今秋の籾收穫方法をはじめ麥の播種、綠肥の手入れ、堆肥の增産[illegible]に指導督勵を行ふことになつた、右打合會には原理事、庄田農務課長以下關係役職員がそれ〴〵出張各地の農家をも訪問して陣頭指揮に當るがその日程は左の通り

十七日平南江西▲廿日から[illegible]▲廿、廿一両日[illegible]▲廿一、二両日釜山▲廿三、四日[illegible]▲廿九、卅両日大田▲八、九両日大田

[illegible]朝鮮綿糸布商組(中間取扱)[illegible]七—九月民分の家庭用、出荷[illegible]

時事小解
籾の天引貯蓄

十八年度の半島二千萬石[illegible]民衆に課せられた貯蓄目標の二億を達成するために[illegible]增産に[illegible]供出の際に[illegible]昨年までは[illegible]あつたのが今年からは三圓七十錢となつたから、數字の上[illegible]十圓で、この中から一割の四圓だけ貯蓄に振向けることに[illegible]することになつて玄米一石二十圓八十錢、籾一叺七十錢を加[illegible]算七分四厘に當る十四圓八十錢を天引貯蓄とすることに決[illegible]わけだが、それでも十五[illegible]年取り廿六圓に比べると[illegible]圓廿錢になるから、國家[illegible]はずつと殖えてゐるわけ[illegible]る、今年は籾一叺で三圓[illegible]錢の天引貯蓄であるが[illegible]が小作人の納めたものを[illegible]ときは一圓廿錢を地主か[illegible]引きし、殘り一圓五十錢[illegible]農民に渡る補給金[illegible]差引くから、小作人は地[illegible]納めても籾一叺について[illegible]てゐて一圓五十錢づつ貯蓄が殖えるわけである

前年比五分八厘減
本年度春蠶收繭高發表

【東京電話】注目されてゐた本年度春蠶收繭高は十五日農林省から發表されたが、これによれば實收二千八百九十八萬七千貫と前年收繭高に比し百七十八萬三千貫(五分八厘)の減少を示し、また掃立蠶種數が前年に比し八分三厘、蠶種掃立卵量が同じく七分二厘の減少を來したことは勞力、資材などの不足に基くものと解せられ、なほ蠶質の明さを殘した

本年度産繭目標は總額六千三百萬貫、うち春蠶は三千二百六十八萬七千貫で、この目標までに三百餘萬貫

農林省發表 昭和十八年

春蠶收繭高 昭和十八年における春蠶は掃立蠶種數一、一四四、六四三、蠶種掃立卵量四〇、八三七、四四五、收繭高二八、九八七、一一七貫うち白繭二八、七二四、〇五七貫、黃繭二六四、〇六〇貫にして、これを前年に比すれば、掃立蠶種數一〇三、七九四(八分三厘減)蠶種掃立卵量三、一七八、七四〇瓦(七分二厘減)收繭高一、七八三、五二六貫(五分八厘減)を示せり

蓋し以上の如く繭高において前年に比し減少を見たるは飼育中の氣候概して適順にして蠶兒の發育良好なりしも桑園の減少、勞力資材の不足などのため桑葉量の減少を見越し、掃立數量を減少したるによるものの如し

配給の實情檢討

【大田】生活必需品の適正配給を促し忠南道商工課、經濟警察兩課をはじめ大田府、大田署では協力しさきに府内各町總聯盟を動員し配給實情調査したが十一日には關係者が府會議室に會同し調査の結果をそれ〴〵提出して嚴重な檢討を加へ今後配給機構の是正等適切な配給方途に資することになつた

馬の豫防注射實施

【海州】海州署では馬の傳染性貧血及び鼻疽、假性皮疽が流行してゐるので廿日から三日間、豫防注射を實施する

桑は自慢の寄畦式
指導者と農家渾然一體

忠淸南道

【論山にて西川(定)特派員發】昭和六年の幽閉部落は養蠶に對し疑惑と不可解な眼を指し向けてゐた、今日全鮮屈指の模範養蠶地帶たる論山郡城東面三山里の部落の人達にも深い恐怖感を抱かせた、この困難な時期にあつて養蠶への情熱を捨てず默々と良心の督導に勵んだ人に現論山郡地方技手岩本信正氏がある、氏のひたむきな指導努力の結晶は當時の惡條件を克服して、この三山里に初めて五戸の桑田を設置した

若き二人の

指導者を得た同郡では十一年に初めての蠶業獎勵計畫に乘り出した、この計畫實施は第一に桑の栽培にあると堅く岩本氏の住むこの部落に五町歩の先驅的養蠶農家を生み出した大いに喜びづいた岩本氏は全部の養蠶普及を目指して、先づ翌年から桑の栽培獎勵に乘り出した、この秋惜みなき援助と技術的協力を誓ふ齋藤則泉氏が氏の面前に出現した、岩本氏のためには千萬の味方にも價する齋藤氏もその頃郡の少壯産業技手であつた、肝膽相照らす

併し問題は單に植ゑることだけでなく、植ゑた後の手入れの肝腎な點にある、如何にして桑田の肥培を徹底せしめるか、これは彼等二人が蠶業獎勵の構想を練り出した當初から一番大きな課題となつてゐた

〝桑に親しませる〟このことは桑田の肥培を徹底させるといふ目先の目的成就の手段のみに限られてゐるものでなしに、もつともつと大きな効果に焦點がある、即ち〝桑に親しませる〟とは蠶業への愛着心を沸き起す原動力となる、こんな風な考へ方をした二人は

—植桑に際し 寄畦式植栽

方法を選ぶことに決めた

寄畦式とは齋藤氏が考案した植栽法で、株間を一尺五寸、畦間を四尺にし、更に次の列との間に十二尺の間隔を置いて植栽するやり方であるが、これは間作を主眼とする獨特の方法である、特に間作に主眼を置いたのは肥培管理の促進と桑に對する愛着心の涵養を狙つたからで、よしや蠶業に無關心な農家であつても桑田の間作を行つてゐる間に知らず識らずに蠶業への興味を喚び起して行く

かくて寄畦式植桑法が奏した農家の養蠶熱は次第々々に熾烈となり、かれこれ十年前やつと五戸の養蠶戸數を數へるに過ぎなかつたこの部落も今年は全農家戸數百廿戸の内六十九戸を〝桑に親しませる〟に至つた、桑田も二反から七十五反に擴がり掃立も僅か三枚から

春は九十七枚といふ素晴らしい飛躍で六百五十八貫の産繭を出した、十二年の秋に兩氏が初めて

共同催靑を企畫したの

もこの部落で、當時五十二戸組合員の分を引受けて岩本氏宅蠶室で全蠶種十七枚を完全に催靑、一枚當平均六、七貫の收繭量を擧げて、郡平均四貫といふ全鮮首位の金字塔を築きあげたのも兩氏の骨折りがあつたればこそだ

本秋は更に蠶作の安定を强化し、掃立蠶種九十五枚全部を岩本氏宅で委託飼育を實施し、現在五齡中にある、他方郡農會は指導者と農家が渾然一體となり養蠶に集中してゐる美しい努力と熱誠に報いるため昨年四月總額一萬八千圓を投じて邑内昭和町に全鮮にたつた一ケ所しかない近代蠶業の粹を集めた稚蠶共同飼育場を設け飼育の合理化と能率の向上を圖つてゐる、[illegible]如何は蠶兒に至大の影響を及ぼすのであるから、この係員の全神經は常にこのことに注がれてゐる、

蠶兒の强弱

[illegible]溫濕度の調節に手ぬかりのないやう各蠶室には警報器と信號器が据付けてある、室内の溫度と濕度に些細の狂ひでも起きれば時を移さず直ちに警報器が電鈴により事務室に慌しく報知する、即座に係員は蠶室の隣室に豫め準備してある氷庫又は電熱ストーブを操作し溫度或は濕度を調節する、從つて係員は常に一定時間每に天候、内外溫濕度を觀測することを怠らない

【寫眞—春蠶の分配】

伊艦艇利用價値
消耗に惱む米英の狙ひ

【ブエノスアイレス十三日同盟】イタリヤの降伏は反樞軸側を狂喜せしめたが、特にイタリヤ艦隊の反樞軸海軍への合流はイタリヤ降伏の齎した最大の軍事的意義をもつたものとして重大視してゐる、イタリヤ艦隊のどの程度がマルタその他への逃亡に成功し、かつその戰爭能力がどの程度かは不明だが、從來イタリヤがまだ樞軸側にて立つ續けてゐた當時、反樞軸側は開戰以來の

甚大な損害で

イタリヤ艦隊はほとんど存在しないにも等しい程度にまで減殺されたと宣傳してゐたにもかゝはらず、一たんイタリヤ艦隊が降伏すると筆を返したやうにその健在を强調し、極めて有力な艦隊が反樞軸艦隊に合流したと稱してゐる、この見地から十三日マルタの英海軍基地で英國地中海艦隊司令長官カニンガムと米國新聞記者との會見談内容は注目に値する、すなはちカニンガムは

イタリヤ艦隊は健在であり、何れも第一級の軍艦だが特に戰艦と新巡洋艦とが素晴しい、休戰協定によれば吾々は

イタリヤ艦隊

をどう處分してもいゝわけであり、艦隊の現狀からみて今後十分戰闘に使用し得られよう、今後反樞軸側はその主力艦隊を太平洋戰線に集中し得ることとなつたわけだと大いに景氣のいゝ戰略を試みた

しかしイタリヤ艦隊を今後戰闘に使用し得るか否かについては反樞軸側でも諸説紛々たるものあり、たとへばロイター通信海軍記者は悲觀論をとり次の如く報じてゐる

イタリヤ海軍將兵乘組の下に戰爭に從事させることは勿論出來ないが、反樞軸側の海兵を乘組ませることも技術上不可能だ、更にイタリヤ艦隊は高速度をもつて地中海といふ限られた水域の作戰を目標として建設されたものであり、太平洋のやうな廣大な水域での長期作戰には燃料貯藏能力からも不可能である

近代的な戰艦

乘組員約千五百の内その半數以上は充分な訓練を受けた技術家であり、米英の軍艦と大いに相違した構造を有するイタリヤ軍艦を米英の海兵によつて操縱させるためには大變な訓練期間を必要としよう、たゞ掃海艇、潜水艦、快速艇の如き小艦艇は比較的早く戰闘に使用し得るかもしれぬ

しかるにこれに對してエーピー通信特派員は十三日マルタ島から反樞軸側に降伏したイタリヤ艦隊は太平洋における戰闘に從事することが出來るだらう、たゞ困難な點は乘組員を如何にするかといふ點と彈藥の問題である、イタリヤ軍艦の大砲は米英のそれとは非常に相違してゐる、としてその降伏によつて歐洲乃至地中海水域に反樞軸艦隊が救援に來攻することは一應考へられる

隨想錄

〝婦人はどのやうな物でも自己の護身具とする能力と智慧を持つてゐる〟と誰かが云つたが、最近それを證づける新事實が生じた▲決戰下における婦人の服裝が問題になり、優美に過ぎた長袖を截つて、多くが元祿袖になつた。婦人達としてはなほ長袖に未練もあるらしいが思ひ切つて元祿袖にした人をみると三つや五つは若返つた▲袖が短くなつただけで、一種の潑剌さと、凛々しさを感じさせ、その服裝が銃後を護り抜く決意を見せた顔に調和して若く見えるのである▲いかに決戰下と雖も、女性達は相變らず若く、美しく、そして元氣でなければならぬ。指摘されるのはびらしやらとして時局を辨へぬ態度なのだ。程度の高い潔純な美はいつでも必要である▲元來、元祿袖は優美華麗な元祿模樣を一層ひきたてる爲に、短く、丸味を持たせたのだが、後になつて、袖の短さだけが活用され出した。これは〝物の効用〟の必然的な變化だ▲元祿袖の發生は如何にあらうとも、その長所をとつて決戰下に生かすならば、後世の人はこれに新しい名をつけて尙ぶだらう。と同時に戰勝の日のよき記念品ともなる筈である▲時局が短い袖を要請する以上、膝鞠は無用、速かに長い袖では買物にも出られなくなる。それと共に、截つた部分をいかに經濟的に生かすかを考へるがいゝ▲保健のために、截つた袖で頭巾を作るのもいゝし、洗濯袋を作るのもいゝ、利用法はいくらでもある筈だ。もしそれ、全國の婦人が截つた袖を獻納したら、忽ち兵器と化して敵擊滅のお役に立つと疑ひを容れない。

證券市況(十五日後場)

朝鮮長期

銘柄	當引	中引	先引
鐵工新	—	四一·五	—
遊仙	—	—	—
朝石	三〇·〇	—	三〇·〇

大阪長期

銘柄	先引	銘柄	先引
鐘紡	—	鐘新	—
日立	八〇·二	日立新	八〇·〇

大阪特殊長期

銘柄	先引	銘柄	先引
不二越	六六·五	東洋へ	—
大製鐵	六六·五	砂鐵	—
日蠶紡	六六·五	住實	—

東京長期

銘柄	先引	銘柄	先引
富士	—	鐘新	一三·九
鐘紡	—	日立新	八〇·五
日立	八〇·一	不二越	六六·六
日精工	三三·一	台拓新	四〇·二
昭和電	六·六	同新	—
日魯	四·二	日滿工	—
滿業	六·三	商船	—
郵船新	六·九	三菱重	九·五
神戸鋼	六六·五	北支	—
日鐵	六六·八		

銘柄	先引	銘柄	先引
兵器	—	三菱鑛	四三·二
小野田	四〇·八	大同鋼	三·二
東製鋼	一三·二	中央	—
石原	—	鋼管新	—
高周波	六三·七	小野炭	六二·三
北炭新	六三·七	デゼ新	五六·四
東洋ヘ	—	砂鐵	—
帝工	—	古河電	五六·九
日曹達	六六·四	洋曹達	—
講	—		

我ら兄鷲に續かん
學徒の航空蹶起大會
來る十九日

前九時から京城運動場で朝鮮學校體育振興會學徒航空蹶起大會は航空日を前に十九日午前九時から京城運動場で朝鮮學校體育振興會、同京畿道振興會、朝鮮國防航空團共催の下に、京城府内大學、專門學校、中等學校生徒一萬三千名を動員して華々しく開會

祖國の興隆大東亞百年の運命をかけて南溟北涯に日夜熾烈なる航空決戰が續けられるとき、ひたぶる空への熱魂は全國の學園を燒き若き學徒の血潮は猛烈む尻の響も固く兄鷲に續かんとす學窓の総蹶起を釀成する學

大會は國民儀禮ののち大野學振會長式辭、次で朝鮮軍參謀長、海軍武官、航空團長、高知事の激勵の辭に應へて學徒の決意披瀝があつて滑空及び飛行訓練公開を初秋の碧空に繰展げ、終つて海行かばを齊唱、皇國臣民の誓詞を齊誦し聖壽の萬歲、帝國陸海軍萬歲を奉唱して大會の幕を閉ぢる

開く航空展覽會

第四回航空日を迎へて鮮内各地では多彩な各種行事を實施するが京城では朝鮮國防航空團、國民總力朝鮮聯盟共催の下に十七日から廿六日まで府内百貨店を總動員して開く航空展覽會は盛上る空への意欲を一段と昂揚するもので三越では航空發達篇、丁子屋では航空戰記篇、三中井では飛行機增強篇、和信では若人よ續け篇で半島出身荒鷲の遺品や兒童畫も出陳される

恩施上空に奮迅
岩村法相令息　竹俊大尉壯烈な自爆

六月六日〇〇基地を進發したわが荒鷲の大編隊は湖北の敵を快擊、長陽恩施上空に殺到、敵飛行場を完膚なきまでに爆碎するとともに挑戰し來つた敵P40を二機撃墜するの輝かしい戰果を收めたが、この日岩村機は〇番機として敵飛行場に殺到巨彈を浴びせ、これを徹底的に爆碎したが敵は小癪にもP43戰鬪機二機をもつて挑み來つた、わが荒鷲群は敵機にも爆擊機をもつて敵戰鬪機に應戰し戰鬪機に襲ひかゝつた敵機群の敵彈を浴びて愛機は多數の敵彈を受け……無念や一彈は操縱者の岩村……命中し、さらに機關から……る黑煙を噴きはじめた、……村機は攻擊の手を緩めず……鬪をつづけて敵機群を……が、遂に力盡きて自爆を……

……空偵機に別れの合圖をな……東方八十キロの山間にあ……施設目がけて敢然急降下……烈鬼神を哭かしむる自爆……のである

爆擊行二十回
赫々の武勳

……

畏しアツツ玉碎の通信士に榮譽

【東京電話】去る五月下旬北海の孤島アツツ島において山崎部隊長以下皇軍將兵とゝもに壯烈なる戰死を遂げた通信戰士遞信事務官佐藤吉氏以下二十六名に對しこのほど畏くも高等官としてそれ〲敍等あるひは昇格の御沙汰あらせられ、十五日發令された、この日遞信省では寺島遞相が謹話を行ひさらに全國各遞信局三十八萬の遞信從業員は十一時を期して玉碎勇士に對し默禱を捧げた

【寫眞＝街に現はれた松茸】

秋の味覺の王
早くも松茸の走り

日本の秋の香り松茸が早くも市場にお目見得した——食物……

夏川茶舗
皇軍慰問演藝團北行

【釜山電話】宮崎縣下各農村から選ばれた乙女達廿名の皇軍慰問演藝團一行は十五日釜山着ヘルピン、北京行列車に分乘して北行した、同慰問團長永友一郎氏は語る

宮崎縣は毎年で一回づつこれで五回目ですが、團員はいづれも農村の純朴な乙女ばかりでみんなの得意な隠し藝で皇軍の慰問演藝行脚をする積りです

一つ殘らず供出
無駄な通話も一切止めよ
遊休電話

十四日の定例局長會議においてかねて遞信局は電話の供出及び利用について發言があつたが右に關し遞信局深川監理課長は十五日左の談話を發表した

遊休電話の供出と電話利用の自肅については機會ある毎に一般に協力を求め特に本年六月には供出運動を全鮮に展開し相當の成績を得たが之等供出電話の中には必ずしも不要不急とは云へ……り重要でない電話をお持ちの方はこの際一日も早く供出して戴きたい、又この際無駄な通話は一切止めて戴きたい、通話は簡潔に呼ばれた時は『何某です』『何番です』などこちらの名前や番號を云つて直ぐ應答し少し使用効率を向上するやう願ひ、特にお願ひしたいことは電話事務員が殆ど國民學校出たばかりの少女で不行屆が多々あると思ふが、少々行違ひで怒鳴るやうなことをせず、電話番號ははつきりと……

急がぬ用事には電話を使はぬやうお互に親切に應對し機械を愛護することに深く心掛けて戴きたい

時局防空必携
朝鮮總督府 8

其の九　死傷者が出來たら

一、負傷してもひるんではならない

二、輕傷者よりも重傷者の處置を先にする、家屋等の下敷になつた者は早く救ひ出す

三、手の足りないときは速に警防團や警察署に通知して應援を求める

四、處置のやり方は

1 重傷者は　速に　救護所に送る

イ、出血の多い者は應急止血をして送るロ、骨折した者は取扱に注意する、ハ、短時間で救護所に送れるときは手當をしないで送る

2 輕傷者は應急手當をして活動を續けるか、救護所に行つて治療を受ける

3 窒息瓦斯傷者は安靜にして救護所に送り糜爛瓦斯傷者は應急除毒をして救護所に送る

4 催涙瓦斯傷者や、クシャミ瓦斯傷者は自分で應急手當をするか、救護所に行つて治療を受ける

5 救護所に收容された患者やその附添人は、係員の指圖に從ふ

6 死亡者は應に且速に收容する

其の十　空襲警報が解除されたら

一、警戒警報の發令された狀態に移る

二、次の空襲に備へてすべての準備を完全にして置く

三、愛國班長は班内の被害の狀況を町總代と最寄の警察官署に屆け出る

四、愛國班長は彈片その他の落下物を警察署へ屆け出る

五　學校、工場、銀行、會社、病・産院、興行場、集會、百貨店等に對する一般の心得

一般の者は學校、工場、銀行、會社、病・産院、興行場、集會、百貨店等に對しては家庭、愛國班の防空に最も關係の深い次のやうなことを、特にふだんから心得て置かねばならない

一、學　校

1 學生、生徒、兒童になつたんから防空に都合のよい服裝を準備して置く

2 警戒警報が發令されても授業を續けるのが建前である、學校報國隊の防空補助員は所要に應じ豫め定められた消防救護その他の防空業務にあたる

3 空襲警報が家に居る場合發令されたら、學校で定められた任務のあるものはすぐ任務につく、若し登校又は歸宅の途中であつたら直ぐ任務につく、その他は、學校か家庭の何れかなるべく近い方に行く

二、工　場

1 特設防護團員は、何時防空警報が發令されても直ぐ職場に駈けつけられるやうに準備して置く

2 防空警報が發令されても、作業を續け生産を減少させないやうに努めるのが建前である

3 工場に働く一般の産業戰士は空襲警報發令中でも、ふだんの通り出勤時間迄に職場に行く

三、銀行、會社等

防空警報が發令された場合は一般勤務者の出勤は前もつて定めた通りにする

四、病・産院

1 空襲警報が發令されても、必要な手術やお産の手當は行はれる

2 救護所に充てられる病・産院に入院してゐる輕い患者は空襲の狀況によつては退院させられることもある

3 空襲の際入院患者の安否を直ぐ電話で問ひ合せたり、行つて訊すことは防空活動の妨害となるから是非慎まねばならぬ

五、興行場、集會、百貨店等

1 警戒警報が發令されたら興行場、百貨店へ行かないやうにする、集會へも已むを得ないもの丶外は行かない、演說會や講演會その他集會は屋外では行はれない

2 空襲警報が發令されたら興行や集會はすべて行はれない、これ等の場所にゐるときは、係員の指圖に從はねばならぬ

3 何時防空警報が發令されてもよいやうに、豫め防火用資材の配置、非常口、待避所の位置等に努めて承知して置く

稔らぬ〝八道〟に歡喜の秋
義人の手に荒蕪の地蘇る

京畿道……外……面廣壯里附近は昔から〝八道〟の別名で呼ばれる、土地の田が稔れば鷄林八道の水田は豐作であるとの意で附近一帶の地は旱害の地で有名であつた、面内九宜里に京城府〇〇〇がある、所長次田茂雄氏（五〇）は一晝夜三千トン（一萬六千二百石）にのぼる排水を利用して農村の水不足を補つたらと早くから着目していた、城東署廣壯派出所鶴藤祐治巡査部長と……面長芝原茂藏氏と手を握り合つて固き結盟は實はれた、府當局に用水使用の認可申請を行ふと共に芝原面長は關係地主六十餘名を戶別訪問して困難な說得を行つた、次田所長は職務の傍ら灌漑用水道設計圖の製作に徹夜の奉仕作業が續けられた、漸く一部頑迷な村人の說得を終へて工事に着手したのが去る五月廿五日、日夜作業を督勵して竣工をみたのは八月上旬であつた、工費三萬圓で五十糎及び廿糎水管を使用して延々千三百米の水道と三ケ所の貯水池の完成をみた、村人の間に期せずして歡呼の聲が擧げられた〝八道〟の汚名は今や一掃され、九十町歩の瑞々しい稻田に初秋の風は爽やかだ、三百戶、千五百餘名の村人は天地に感謝し三名の〝村の義人〟に對し心からの謝意を述べ豐饒の秋を讃へてゐる【寫眞＝稻田に見入る次田茂雄氏と鶴藤巡査部長】

鳥取へ見舞金
總督府から送附

本月十一日鳥取縣に惹起した地震による被害は相當深甚にして多數の死傷者及び火災、倒壞家屋を生じた種きに接した小磯總督は天災とはいへ決戰下誠に同情に堪へずと、十五日、鳥取縣知事宛に見舞電報を發すると共に見舞金として金五千圓を送附した

斷じて勝て航空決戰

今日の戰ひに於て大きな役目を果してゐるものが三つある、海上に於ける艦船、陸上の戰車、大空の航空機である、しかし艦船が如何に優れてゐても例へばマレー沖海戰のやうに、また戰車が如何に優れてゐても例へば獨佛戰のやうに、航空機による制空權のない所には絕對に最後の勝利はない、特に海上戰に於ては一秒でも早く敵を發見して攻擊した方が常に勝敗を保つといふことからして航空機の必要は絕對的である『制空權のない所に艦は浮かべない』と言はれる理由もこゝにある

×　×

大東亞戰爭は一面海上戰である艦船同志堂々火砲を撃ち合ふ戰ひはもちろんのこと、前線に彈丸や食糧さては兵隊を送る補給船、さらには戰爭物資の運搬

生産のため人や物を動かすことも常に海上を舞臺として行はれねばならない、然し前途の通りこれ等の戰ひには、制空權の確保が絕對の要件である、敵航空機のブン〱飛び廻る海面では如何に勇敢な日本の艦船でも無傷で通過する事は難しい、また如何に精銳な軍隊が優れた武裝の下に頑張つてゐても、大空から落ちて來る爆彈は防ぎやうもない、アッツ島の神兵が、ガダルカナルの勇士が、航空戰上の惡條件下に如何に無念の血涙を絞つたことであらう、我々は敵へていふが實に航空戰こそ全戰爭を決定するものである『飛行機を作れ、飛行機を作る機械を作れ、更に多數の飛行機乘員を養成せよ』これこそ前線に直接戰へぬ我々銃後國民の絕對的責務である

この苛烈な
戰ひを勝抜く根本である

然らば敵米國は一體この航空決戰に對してどの程度の準備と用意を持つてゐるのであらうか？『敵を知り己を知る者は百戰危ふからず』の金言に從つて敵米國の飛行機生産、乘員養成の現狀を少しく覗つてみよう

×　×

米國戰時生産局は『本年内に航空機十二萬五千台を製造する』と豪語した、つまり一ケ月一萬台、一日に三百餘台を作るといふのである、これは勿論敵側の謀略宣傳を含めての發表であらうが、然しすべてを敵側の宣傳であると簡單に決めることは尙更危險である、つまり十二萬五千台は假としても八萬台九萬台が作られてゐるのは確だからである、その上當局が是が非でも十二萬五千台の目標を遂しようとして『若し生産目標に達しない工場があればその工場を政府の管理下に置く』と工場側を脅かしてゐるの……をみても判る

然もそれがある程度適用されてゐるのである、我々はこれをもつて『自由の國としての米國の崩壞』などと獨りよがりの觀念論に耽つてはならない、反對に建國以來の傳統たる『自由』をすら犧牲にしても、戰爭物資を確保せんとする彼等の並々ならぬ決意を見るべきである、敵必死の航空機生産ぶりは開戰以來各工場に對する政府の註文高が

急激に增加
してゐるの

米國商工會議所の發表によると一九四二年つまり開戰二年目は僅かに五十億ドルであつたものが翌一九四三年には一躍一百二十億ドルとなつてゐる、その內譯は不明であるが、參考として一九四二年十一月の各工場の引受高は

▲カーチスライト四六億一三〇〇萬弗▲ダグラス二三億七三〇〇萬弗▲ユーナイテッド二三億四三〇〇萬弗▲ボーイング一八億二六〇〇萬弗▲コンソリーデーテッド一七億五九〇〇萬弗▲ロッキード一三億七三〇〇萬弗▲エビエーション・コーポレーション一三億四八〇〇萬弗▲マーチン一三億二九〇〇萬弗▲ノースアメリカン九億七九〇〇萬弗

となつてゐる、勿論各社製作航空機の種類によつて註文受高も違つて來てゐるだらうが、大體はこれによつて察することが出來るだらう

更に一九四三年、即ち敵總反攻呼號の年に入るや一月に五千機、二月五千五百機、三月六千二百機と續上りに上昇、豫定の一ケ月一萬機には未だ及ばないが徐々に目標に達せんとしてゐる、我々はこれを決して輕視してはならない

陸軍戰鬪機
はカーチスP38、P39

なほ參考のために現在生産されてゐる主なる機種を見ると

陸軍戰鬪機はカーチスP40、リパブリックP43、海軍機ではグラマンF四F、及びボートシコルスキーFU1等がある、爆擊機は急降下爆擊機としてダグラスSBD3が主力をなしカーチスSB二C4、中型機にマーチンB26、ダグラスA20Aがあり、例の日本空襲のノースアメリカンは南方には殆んど現れず專ら支那大陸に送られてゐるらしい、重爆は最近コンソリデーテッドB24を主力にボーイングB17Fがある

×　×

生産面は以上の如くであるが、乘員方面は如何であらう、大東亞戰開始翌年の一九四二年六月アーノルド航空部隊司令官は陸軍擴充に

學校は兵營その儘
敵米　學生軍に凄い力の入れ方

關聯して本年末までに空軍將校六萬人、兵百萬人に增し一九四三年三月にはこれの倍加を豫定してゐると豪語してゐる、海軍側に於ても一九四〇年六月、一萬六千名を整備することとなり着々空軍增加を圖つてゐる模樣だから、今年に於ては決して侮る可からざる數を保持してゐるものと見なければならない、これ等尨大な人員は單に

徵兵にのみ
依存し得ず種々の方法によつて充足してゐるが、その一つとして陸海兩軍に豫備將校養成團といふわが國の豫備學生の如き制度がある、海軍豫備士官養成團は一九二六年創設、當時は全國に僅か六校しかなかつたが、一九四〇年開戰直前には一躍全國各大學に設立されてゐる

訓練方法は配屬將校が在校生に航空將校たる基礎を教へ込むのであるが、術科、學科は少くとも一回以上の夏季飛行實習と二週間四時間づゝ四ケ年の實際訓練を必要とされ、この課目を修了すると飛行候補生になる資格が與へられ、卒業後一ケ年隊勤務修了者は豫備少尉に任官する又豫備生徒といふ制度があり、これは大學二ケ年以上の在校生で

十九歳から
二十六歳迄の中から希望者を採り三ケ月の訓練を經て檢査を行ひ、更に三ケ月の教育で豫備少尉に任官する

陸軍にあつても同樣制度を有して教官が在校生に對して軍事教育を施してゐるが、空軍豫備將校の養成には特に力を入れ十八歳から二十六歳までの在學中の大學生中、※國に懸しない者も將校候補生として任命し航空豫備軍に登錄させ、航空專門教育を受けさせ卒業後はこれを召集、飛行學生として航空隊に入隊せしめ空軍豫備將校に任命してゐる

このやうにして米國學生は大量陸海軍に動員されるが、何といつても特に力を入れてゐるのは矢張り航空乘員であり、この特別養成制度として海軍飛行候補生制度がある、これは一九三五年から始められたもので、一年二ケ月間訓練して航空豫備少尉に任官することとなつてゐるが、大東亞戰爭開始するや

資質の低下
と訓練期間の短縮によつて一ケ月三萬人を送り出してをり、現在この訓練を受けてゐる者は六十五萬人に上つてゐると宣傳してゐる、なほこの外廿歳以下の航空關係希望者は廿四週間訓練の整備員、同じく實施部隊工業員等があるが、この實施部隊の中から飛行艙搭乘員を募り三ケ月の教育後海軍豫備少尉に任命する一方陸軍關係を見ると、陸軍長官スチムソンは『戰爭遂行の爲には學校教育の犧牲又やむを得ず』との強硬方針の下に『強より戰』を目指し續々と學生を空軍に狩出し、例へば大學專門學生で陸軍規定の軍事訓練を受けつゝある者の對校競技參加を禁止しこれを訓練して航空乘員に動員する等、かなり徹底した方法をとつてゐる、今や全米國學生は事實上の戰爭動員を受け學校の建物、施設は全部軍に徵用され在校生は兵營生活と殆ど變らぬ訓練を受けてゐる、更に全米國にある二萬八千の中學校の生徒六百五十萬人は『勝利隊』といふものを組織して候補生になるため訓練を受けてゐる（つゞく）

米の格納庫教室
空軍擴充に狂奔する

米國軍部當局はその飛組員の大量養成に大童となつてゐる、寫眞はベレビル市のスコット飛行場に於ける陸軍通信學校々舍の增築が間に合はず格納庫が臨時の教室に當てられてゐる

夕刊 京城日報

日獨兩國 共同聲明發表

【東京電話】イタリヤ・バドリオ政府の無條件降伏以來帝國政府は盟邦ドイツといよく緊密なる協力提携の下に着々必要なる施策を講じ不退轉の共同戰爭遂行に邁進しつゝあるが十五日午後二時情報局から日獨兩國の共同聲明を發表、バドリオ政府の背信行爲は三國條約に聊かの影響をも與へるものにあらず三國條約はその效力も何等の變化なく存續するものなる旨を堂々と中外に闡明、あらゆる手段を盡して今次戰爭を戰ひ拔かんとの烈々たる兩國の決意を表明した

三國條約は不動

飽迄共同の戰爭完遂

日獨共同聲明（九月十五日午後二時）大日本帝國政府及大獨逸國政府は共同にて嚴肅に左の通り宣言す

『バドリオ』政府の背信は三國條約に聊かの影響を與ふるものに非ず、同條約は其效力に何等の變化を受くることなく存續するものなり大日本帝國政府及大獨逸國政府は相共に有ゆる手段を盡して最後の勝利を得る迄今次戰爭を遂行するの決意を有するものなり

天皇陛下御答電

【東京電話】天皇陛下には去る十三日滿洲國皇帝陛下より鳥取地方の震災につき御見舞電報を寄せられたるに對し御鄭重なる御答電を御發送あらせられた旨十五日宮内省より發表された

滿洲國承認記念式擧行

【新京十五日同盟】滿洲國承認記念日の十五日國務院では午前八時嚴肅な記念式典を行ひ、張國務總理、武部總務長官より訓示あり、各官衙會社もそれぞれ祝意を表し市中は新京神社秋季例祭と合せて賑ひを呈した、なほこの日全滿洲各地においても承認記念式典を擧行、日本への感謝、滿洲國の發展を祝福した

海軍經理學校卒業式

【東京電話】海軍經理學校第〇〇期生と第〇〇、〇〇〇兩期甲種學生、第〇期補修學生、第〇〇期專修學生卒業式は十五日、畏き邊りより御差遣の伏見宮博恭王殿下台臨の下に午前十時から同校で嚴かに行なはれた、紺野校長、嶋田海相その他參列裡に御差遣宮殿下ならびにこの日とくに參列を許されたる軍令部總長、陸軍、山梨兩大將および高瀬商大學長、田中早大總長、小泉慶大總長らに畏き聖旨賜謁、紺野校長より卒業生に關する言上を聞召され次で卒業證書授與式場に台臨、紺野校長より卒業證書を授與し、ついで優等生第〇〇期生徒槇原秀夫（廣島市）伴正一（高知）、第〇〇期甲種學生長井正男主計少佐（山口縣）第〇〇期朝妻富代政主計兵曹長（鳥取縣）の四氏は畏き邊りよりの御下賜品を拜受して御差遣宮殿下御退場、式を終了した

區協議會（假稱）設置

田中總監 非常增産を强調

戰局の現段階に即應し生産力の非常增産を行ふことは喫緊の問題となつてゐるので、農林業等各方面の增産運動を實施してゐるが、田中政務總監は十五日記者團との會見においてこれに協力、斷乎たる決意を以つて增産に邁進すべきことを强調、增産阻害條件は極力克服する旨を言明し、農村方面については地方行政末端の充實、行政法規による豫算の流用等有爲なる區長のもとに三ないし四の區協議會（假稱）の如きを研究中である旨農村決戰體制の確立に關する抱負の一端を洩らした、田中總監の談話要旨次の通り

面區長の部落常駐

豫算緊急流用も必要

總監談

現在生産の隘路として色々の條件が考へられるが、生産增强に對する民間の協力は、更に一層の決意をもつてやつてもらはねばならない、食糧、資材等の不足が見られるとしても現下の時局はいたづらに批判をしてゐる時でなく、まつしぐらに死ものぐるひで增産に邁進すべき時だ、官廳に於ける生産阻害條件がありとせば勿論これは極力克服する、農村方面に對しては面以下の機構を如何にするかといふことを重視し總督閣下をはじめ我々も大いに努力してゐる、これには面長、區長に有爲な人物を得るといふことが、先決條件であつて、區長には長老格の人があるので、これに三つも四つもの區をもたせて協議會の如きものをつくることを考へてゐる、また面吏員を現地につい て指導をやらせるためには面、區長の部落常駐といふことも必要だ、行政法規による豫算の緊急方面への流用等も、生産增强の緊急對策として考へてもよいであらう

田中總監

滑空訓練

空の戰線列車として獨軍が地中海のクレタ島上陸に使用してから滑空機は最早や單なるスポーツではなくなつた、直ちに兵器たり得るのだ、エッサエッサと引張つてピーンと張り切つたゴム索がサッと機體から離されると機は力強く芝草を蹴つてスーツと大地を離れる、澄みきつた大氣を截つて紺青の秋空をゆく時操縦桿を握る若人の面には二ツと會心の笑みが浮かぶ、俺は飛んだぞ！【寫眞＝靑年學校生徒の滑空訓練】

敵魚雷艇二屠る

ダンピール海峽に遭遇

【南太平洋〇〇基地十四日同盟】去る九月十日夜久保大尉の指揮する舟艇はダンピール海峽において二回にわたり敵魚雷艇と遭遇したが、わが方は山砲、機關銃をもつて機先を制して敵を攻撃、第一回は擊退、第二回は一隻擊沈、他の一隻を擊破、敵は倉皇として遁走した、わが方に損害なく意氣揚々として基地に到着した

敵大型機四機炎上

【南太平洋〇〇十三日同盟】去る十三日わが陸軍航空部隊は ファブバ飛行場を攻擊し、地上にあつた敵大型飛行機四機を炎上、その他の飛行機も相當數擊破したほか軍需品集積所を三ケ所以上炎上せしめ全機無事歸還した

アンボン來襲の敵機擊退

【南太平洋〇〇基地十五日同盟】敵はアンボイナ島アンボンに十三日夜四發大型爆擊機四機をもつて來襲したが、わが方は直ちにこれを邀擊これを擊退した

ムッソリーニ統帥ヒ總統會談

伊新政府も近く組織

【ストックホルム十四日同盟】ムッソリーニ統帥は十三日總統大本營に到着、ヒトラー總統と會談を開始したと傳へられる、兩巨頭の會見は七月十九日ベロナ會談以來ほとんど二ケ月ぶりだが、その間イタリヤ政府をめぐる歐洲の情勢は目まぐるしい變轉を遂げ、當のム統帥もほとんど六週間各地に轉々として監禁の生活をつゞけて來てゐるので、今回會談は兩巨頭にとつても特に感慨深くかつ政治的な意義も重大と察される、會談の結果をまつてファシスト新政府の組織、所在地なども本格的に決定される見込である【寫眞＝（上）ヒトラー（下）ムッソリーニ統帥】

『降伏廢棄』を宣言

ム統帥愈々活動開始

【チューリッヒ十四日同盟】ム統帥は總統大本營に赴くに先立ち、ファシスト新政府の所在地といはれるクレモナにおいて元ファシスト黨幹事長ファリナッチと協議を遂げたといはれるが、消息筋の觀測によれば、ム統帥は新政府の樹立を宣言すると同時に 一、イタリヤ傀儡政權の否認 一、反樞軸國への無條件降伏廢棄を宣言する方針と傳へられる

伊總司令官等捕虜

【ベルリン十四日同盟】ドイツ當局はドイツ軍落下傘部隊がティラナにおいてバルカン方面イタリヤ軍總司令官ロッシ將軍ならびに參謀長アルベルチ將軍を捕虜とした旨十四日夜言明した

佛國境地帶を警備

【パリ十四日同盟】十四日附のプチ・パリジャン紙の傳へるところによればフランス政府當局はイタリヤ軍の撤收後南佛メントースおよびその後方地域をイタリヤ軍と交代警備することゝなつた、また佛伊國境附近のオート・アルプ縣の各地も同樣警備されることゝなつた

バドリオ、アフリカ落ちか

チアノ伯何處へ

【ベルリン十四日同盟】ローマからのD・N・B電報によればム統帥はすでに……附近のサンタ・マダレーナ島に監禁されてゐたが約一週間前同島からイタリヤ南部の人里離れた山間に移され、今回ドイツ軍によつて救ひ出されたといはれる、救出と同時に統帥は直ちに大都會に移され家族と對面したが救ひ出された家族のうちにはチアノ伯の子供四人もまじつてゐたと傳へられる、但しチアノ伯自身については消息が一切わからずD・N・B電報も次の通り報道してゐる

チアノ伯がファシスト新政府に參加するためローマに向つてゐるとのロンドン電報はあらゆる意味で間違ひだ、第一にローマが新政府の首都となるかどうかわからず、第二にチアノ伯は今回ドイツ軍の手で救ひ出されたファシスト領袖のうちに入つてゐない、チアノ伯がバドリオと一緒にシチリヤ島に逃げた仲間に入つてゐるか否かはわからないが、何れにせよファシスト大評議會最後の會議におけるチアノ伯の態度に徴し、同人が新政府乃至ファシスト黨内に重要な役割を占めることはあり得ない

一方イタリヤ國王ならびにバドリオの消息については八日夜ローマ放送局を通じて無條件降伏を發表した直後、自動車でローマを脱出しローマ市外アルバナ湖畔におけるイタリヤ軍師團司令部に落着いてドイツ軍が同所に到達するに先立ち雙發軍用機でパレルモに逃げ出したといはれる、種々の情報を綜合すればバドリオは現在アフリカ北部に滯在してゐるのではないかと見られる

獨軍ブリアンスク撤收

【ベルリン十四日同盟】ドイツ軍當局は十四日正午ドイツ軍がブリアンスクを撤收、一切の軍需品を無事引上げた旨發表した

ローマ警察隊司令官任命

【ベルリン十四日同盟】ステファニ通信社はローマ警察隊司令官にリカルド・マラファ將軍が任命された旨報道してゐるが、マラファ將軍はローマ防衛司令官カルビド・ベルゴコ將軍の指揮下に屬することになつた

英落下傘部隊全滅

【ベルリン十四日同盟】ドイツ軍當局の言明によれば數日前ナポリ南東のカステラマーレ附近に上陸した英軍の落下傘部隊はサレルノの戰鬪において全滅したといはれる

赤軍の兵員喪失甚大

獨、ブリャンスクに防衛戰

東部戰況

【ベルリン十四日同盟】D・N・B通信記者ハンメル大佐は獨軍のブリアンスク撤收、その他東部戰線の戰況につき次の通り報じてゐる

一、ブリアンスク北方地區の赤軍は獨軍工兵の最後尾部隊がブリアンスクから撤收中强力な砲兵ならびに戰車部隊の指示の下に西北方に攻擊を開始したが、獨軍の熾烈な抵抗に遇つて敵の企圖は完全に失敗に歸した、戰車二十五台からなる一戰車部隊だけでも敵は戰車十三台を喪失してをり、赤軍が人的に被つた損害は甚大である、さらにセスナ地區の獨軍は奇襲を敢行、敵の占領した重要な據點を奪還した同方面ではほかに重要な戰鬪は起らなかつた

一、ロスラウルからモスコーに通ずる公路ならびにスモレンスクからモスコーに至る公路地區で赤軍は再び攻擊を開始したが、敵の攻勢は獨軍火線に到達する前に擊破されて數地點で敵な局地的楔を打込むに成功したが獨軍の猛反擊によつて擊退された

巡艦等三大破

獨軍南伊で活躍

【ベルリン十四日同盟】總統大本營は十四日正午次の通り發表した

一、カラブリヤ州ならびにプーリヤ州においてはドイツ軍の保安隊は反樞軸軍の攻擊から脱出し無事撤收を完了した

一、ノボロシースク市においては赤軍は市街戰においてドイツ軍の攻擊を企圖したが、悉く失敗に歸した

一、サレルノ方面の戰線においては反樞軸軍は十三日午前同市の北方において攻擊を企圖したが、ドイツ軍の斷乎たる反擊を受け、とくにエボリー南方の高地において甚大な損害を被り敗退、ドイツ軍は廣汎な正面にわたり攻擊に轉じた、反樞軸軍の損害は甚大である

一、ドイツ空軍はサレルノ南方において反樞軸艦船に爆擊を加へ、巡洋艦一隻は爆擊により大破し、中型運送船三隻は爆擊を受けて大破した

獨軍、サレルノ市内に進擊

ム統帥新政權指揮

【ベルリン十四日同盟】ドイツ軍はサレルノ市周邊における反樞軸軍を擊退、逐次市内に進擊してゐる

【ストックホルム十四日同盟】ベルリン來電によればムッソリーニ統帥は新ファシスト國民政府の首班として直接同政府の指揮統帥に當ることに決定したといはれる

一行北伊へ避難

ローマ脱出邦人第一報

【ベルリン十四日同盟】スイス駐在の與謝野一等書記官はイタリヤ傀儡政權の降伏當時ローマに滯在してゐたが、日高大使などとゝもに九日ローマを脱出、ドイツ軍占領下の、ベネチヤに至り、ついで獨伊國境を越え、十四日ベルリンに到着した、同書記官は脱出の經過について次のやうに語つた

イタリヤ傀儡政權降伏の翌九日朝、ローマ駐箚ドイツ大使館員らは多數の在留ドイツ人とともに特別列車でローマを引揚げたつゞいて帝國大使館ならびに在留民もローマを退出し

ドイツ軍占領 下のイタリヤ北部に避難することになり日高大使をはじめ大使館員、記者團など四十數名は十數台の自動車に分乘夕刻ローマを出發した、降伏直後のローマはさすがに興奮に包まれてゐたが治安が亂れるといふやうなことはなかつた、第一日にはローマから夜道をしかもアペニン山脈の峻嶮を縫つて北上したのだから相當難澁を極め一行中の自動車が顚覆するといふ事件もあつたが、幸ひ支障もなくペルヂヤに到着同所に一泊した、翌十日同地を出發、所々でイタリヤ軍に誰何されながら午後フェッラに到着、ここでやつと南下するドイツ軍に出會ひ、寛いだ氣持で休息することが出來た、第三日はフェッラからドイツ軍占領下のイタリヤ北部を横切り十一日やうやく目的地のベネチヤに到着出來た次第だ、大使館員ならびに記者團な暫くヴェネチヤに滯在してゐるが、ドイツ軍およびファシスト新政府との連絡のもとにイタリヤ北部のどこかに落着くことにならう、ローマ在留邦人婦女子ならびに

男子の一部は 早くからイタリヤ北部に避難してゐたがこれらの在留民たちも皆無事だドイツ軍のイタリヤ本土進駐は非常に巧みに行なはれてをり、イタリヤ軍の武裝解除も數個所で小競合があつた程度で大して死傷もなく濟んだ模樣だ

帝國大使館

ベネチヤに假事務所

【ベルリン十四日同盟】ローマ駐箚日高大使をはじめ大使館員および日本人記者團はイタリヤ傀儡政權の降伏直後九日ローマを出發しドイツ軍の保護の下に十一日ベネチヤに到着した、大使館では差當り同地に假事務所を開設したがムッソリーニ統帥がヒトラー總統と會談を遂げた結果によつてファシスト新政府の組織所在地なども決定するので、右決定を待つて大使館事務所を新政府の所在地に移す豫定と解される、陸軍武官室ならびに海軍武官室は大使館と別にそれぞれイタリヤの要地に假事務所を移した

フナフチを爆擊

【ブエノスアイレス十四日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は日本軍航空部隊が十三日エリス諸島のフナフチ島米軍陣地を爆擊相當の損害を被つた旨十四日發表した

對佛印郵便協定

【サイゴン十四日同盟】日本軍々政地域と佛印相互間の郵便物交換に關する暫定的取極め締結については本年六月以來佛印當局とわが大使府との間に折衝中であつたが交渉は圓滿妥結し、八日鈴木總領事とサンジョジュ海軍中佐とにより取極め調印が行なはれた旨十四日午後大使府より發表された、目下諸般の準備進捗中で、完了次第實施の運びである、なほ取極めによる郵便物使用語は日本文またはローマ字綴りの日本文に限られ、表書は假名または振假名附漢字またはローマ字綴りとなつてゐる、當分通常葉書に限定され、書留配達證明その他特殊扱ひは一切行はれぬこととなつてをり、送金についても未決定である

米洲在留邦人

交換地ゴアに向ふ

【ブエノスアイレス十四日同盟】チリーその他羅典米洲各國在留邦人は十六日モンテビデオに赴き交換船グリップスホルム號に乘込んで一路交換地ゴアに向ふ豫定である

共同防衛へ五千萬蹶起す

ジャワ原住民

【ジャカルタ十四日同盟】ジャワ原住民の政治參與に關する發表は現地住民間に大きな感激の渦を卷き起し五千萬インドネシヤ軍政協力、共同防衛への熱意は一段と昂揚されてゐるが、政治參與發表の日から、僅か二日目の七日早くも盛り上る現地住民の熱意を迸らせてインドネシヤ人が軍政監に建白書を捧呈ジャワ五千萬住民にジャワ防衛と米英擊滅のため挺身する機會を與へられんことを歎願し併せて同趣旨の歎願書を最高指揮官宛に提出して軍政當局を感激せしめたが原住民の防衛熱は今や燎原の火の如く全島に燃え盛り、遂に五千萬回教徒も決戰下に一丸となつて共同防衛の重責の一端を擔はんと蹶起ジャカルタ在住回教徒指導者エム・マンスール、アドナン、アマルラー、ゴリッド、アブドル・マジッド、ココブ、ジュニーディ、ハヂ・マフタル、ソドリニッテ・マンスールの十氏は全ジャワ回教徒を代表して十四日午前十時軍政監部を訪問、最高指揮官宛に次の如き熱誠溢るゝ回教徒防衛挺身隊編成に關する歎願書を提出し五千萬回教徒が敢然起つて防衛戰線に挺身すべき決意を表明した

歎願書 過去一年有半の間大日本軍の厚意と指導によりインドネシヤ回教徒は覺醒し、茲に大日本軍より受けた恩恵に報いんとの熱意をもつてゐるものである、ジャワ島外の各地域で戰はれてゐる戰爭の熾烈さに關する報道はこの恩恵に賞行をもつて報いんとする願ひを强くするものである、インドネシヤ回教徒もまたこの戰爭完遂に責任を分擔してゐるものであつて拱手傍觀は許されない、インドネシヤ回教徒はジャワ防衛のために、また大東亞の繁榮と平和を建設しかつ防護するため眞實の犧牲を拂はんとするものである私共は閣下に對しイスラム教の規則と實際に從つて指導されるジャワ防衛隊の編成をわれくに許可されんことを歎願する次第である

私共のいふ防衛挺身隊の意味はオランダ時代に於けるインドネシヤ人兵士とその精神のみならず意圖、目的に於て異なるものである

消息

◇中given高州氏（朝鮮興業會社常務取締役）新任挨拶のため十五日來社

◇相澤長三氏（同社京城事務所長）同上

◇加島末蔵氏（加島組社長）中北支視察中の處十五日『興亞』で入城

守らう"銃後の掟" 軍援强化と街頭道德

實踐要項を各道へ通牒

醜敵米英を擊滅すべき十月の愛國班實踐徹底事項は"眞心をこめて軍人援護に努めませう"及び"お互に街頭道德の實踐徹底に努めませう"を決定して、さきにこれを發表した國民總力朝鮮聯盟では更にその具體的な左の實施要項を決めてこのほど各道聯盟へ通牒した、來る十月こそは全國にくりひろげる軍人援護强化運動に呼應して半島二千五百萬も前線將兵をして後顧の憂なからしめて一億相率ゐて戰力增强に挺身、更に大東亞指導者としての品性を保持して街頭道德を發揮、こゝにも戰ふ日本の底力をほこるのである

軍援徹底要項

眞心をこめて軍人援護に努めませう

▲趣旨 戰局の苛烈深刻なる情勢に對處し全國民眞に一丸となり大東亞戰爭完遂に邁進すべき秋茲に軍人援護强化運動を展開し愈々國民の戰意を昂揚し相率ゐて戰力增强に努め、前線將兵をして後顧の憂なからしめ、益々軍人援護の實を擧げ以て聖旨に應へ奉らんとす

▲實施方針 軍人援護に關する政府の方針に則り軍人援護强化運動期間を起點として戰意の昂揚戰力の增强、軍人援護の强化の三點に主眼をおき國民をして各の立場より之を日常生活に滲透具現せしむるものとす

▲實施事項(一)朝鮮聯盟に於ては右方針に基き十月三日より六日間實施すべき軍人援護强化運動期間を中心として左の事項を實施し本運動の徹底を圖るものとす

(1)總長談話の發表 (2)講演會講師の派遣並に映畫會の開催强化運動期間を中心として講師を各地に派遣し(最近歸還の將兵又は特派記者に依頼す)講演會を開催せしむ尙右講師を中心として派遣地の大日本婦人會支部と協力して指導層の婦人を集め軍人援護に關する座談會を開かしむ(3)壁新聞の配布軍人援護に關する主なる實踐項目を記載したる壁新聞を印刷し各地に配布す(4)作文の懸賞募集 全鮮國民學校兒童より軍人援護に因む事項を題材とする作文を募集し小國民の軍人援護思想の普及を圖ると共に之を通じて一般家庭にも浸潤せしむるものとす(5)陸海軍病院の慰問、强化運動期間中に慰問品を携行し陸軍病院(龍山)及海軍病院(鎭海)の傷病兵を慰問す(6)其の他、恩賜財團軍人援護會朝鮮本部、大日本婦人會朝鮮本部、各報道機關等と提携し援護思想の昂揚に關する各種施設を爲し本運動の徹底を圖る

(二)地方聯盟に於ては、恩賜財團軍人援護會支部、大日本婦人會支部、其の他の關係諸團體と協力して左の事項を實行すると共に各々其の地方の實情に即し更に有效なる施設を爲し本趣旨の徹底を期し國民總蹶起の實を擧げしむるやう意と工夫を凝すこと(1)戰死軍人の英靈追悼、傷痍軍人の平癒並に出征軍人の武運長久祈願、十月三日の正午に於ける默禱を以て實施すること(2)忠靈塔(忠魂碑)陸海軍墓地、戰死者墓地の淸掃並に參拜をなすこと(3)神社へ參拜することと(4)海外安置寺院へ參拜すること(5)傷痍軍人並に遺家族を慰問すること(慰問の際は華美なる服裝を避くること)(6)前線將兵へ慰問文、慰問袋を發送すること(7)傷痍軍人並に遺家族の家庭に對する勤勞奉仕を爲すこと

街頭道德要項

▲趣旨 街頭はその國の鏡であり國民の心の表はれである吾等は常にこれを美化し淨化して淸く明るく爽爽たる街頭一家の風を具現し大東亞指導國民の品性を保持せねばならぬ、依つて街頭道德實踐運動を展開し之が徹底を期するものである

▲實踐徹底事項(一)お互に親切と讓合に努むること(二)老人を扱び幼弱者を勞はること(三)道路の淸掃に努むること(四)道路に物を捨てぬこと(五)道路に邪魔になる物を置かないこと(六)落書の一掃に努むること(七)所かまはず唾を吐いたり手鼻をかんだりしないこと(八)道路に大小便をしないこと(九)道路や停車場などで飮食しないこと(十)街路で歩きながら煙草を喫はないこと(十一)泥醉して道を歩かないこと(十二)交通信號を守ると(十三)左側通行一列歩行を亂さないこと(十四)拾ひ物は必ず屆け出ること

▲周知徹底方法 (一)愛國班の常會に於て周知徹底せしむること(二)職域聯盟に於て周知徹底せしむること(三)學校の兒童、生徒を通じ家庭に周知徹底せしむること(四)寺院、敎會に於て周知徹底せしむること(五)新聞、雜誌、ラヂオの利用(六)劇場、映畫館、百貨店、驛構内等の場内放送(七)交番放送利用(八)移動旋利用(九)立看板利用(十)愛國班誌其他の利用(十一)電柱の利用(十二)交通機關の利用(十三)飮食店、理髮店、浴場、店頭の利用

▲實踐徹底方法 (一)愛國班常會に於て申合せをなすこと(二)實踐督勵班の設置、イ、町、洞里區落聯盟毎に適當人員の實踐督勵員を置き理事長責任の下に實踐の徹底を期すること、ロ、督勵員は適當なる腕章を付け識別を明かにすること、ハ、各職域聯盟は右に準じ督勵實踐を徹底すること(三)指導班の設置道、府、郡、島、邑、面聯盟に指導班を置き下級聯盟の實踐徹底狀況を指導督勵すること(四)警察、學校、靑年團、婦人會等の協力を求むること

【備考】本運動は十月中に實踐徹底せしむるものとするも十月末頃に各道聯盟に於て綜合點檢を爲し其結果に基き更に徹底方法を工夫考慮すること

目指す"蜜柑王國" 濟州島で本格的栽培

【光州電話】氣候と土質に惠まれた湖南の寶庫全南濟州島を一蜜柑の名産地とするためさきに道では關係技術員を內地へ派遣、主要産地の狀況を見さに調査させ同島に最適な品種の種子をも近く入荷する段取りとなつてゐるが、すでに同島においては五年前和歌山縣から種苗を移入して栽培したところ昨年はじめて立派な結實をみ、本年も昨年に倍加して素晴しいものが採取できる見込みであるがこれを全南濟州島のみがもつ鮮內唯一の蜜柑栽培地とする筈でこれが本格的增殖をはかるにつれ全く半島唯一の蜜柑王國が建設されることにならう

城大理工學部 來る十八日開學式

城大理工學部では昭和十六年開設以來內外面に亘りその充實をはかつて來たが各々完成の域に達したので第一回卒業生を送り出すに先立ち十八日午後一時半から同學部運動場で盛大に開學式を擧行、これに引續いて十九、廿兩日は學術の殿堂も一般に開放し廿日午後六時からは科學知識の普及に供し廿日午後六時からは府民館で開學記念學術講演と科學映畫の公開、尙開學式同日は城東驛から同學部行の臨時列車を增結する

お祝獻金相踵ぐ 興行聯合會から五百圓寄託

半島に於ける徵兵制實施を祝ふ內地人側からの記念獻金は文字通り金額的の美しい運動とまで化し、茲に朝鮮興行報國に挺身する人々は京城の興行聯合會からの飛機によつてそれぞれ淨財を集めてゐたが、一先づ五百圓に達したので常務理事成淸竹松氏が代表して十五日午後本社を訪問、安井文藝人に面會して右金額の獻納方を寄託したが、氏は"金會員の赤誠になるものですから若い此少年ら兵に召さるべき半島靑少年をよりよき健兵として育成する目的のために御使用なさるならば光榮これに過ぎません"と語つた、尙府內黃金町二ノ一九東拓ビル內北鮮製紙化學工業株式會社からも代表者藤原喜藏氏の名によつて金一封が寄託された、氏は"ほんの志だけです"と前置きして語る

徵兵制の實施は寔に慶賀に堪へません、過般も國民學校の生徒が多數水禍の爲に尊い生命を奪はれましたが、あの時にも直ぐ徵兵といふことを想起しました、あの少年達は成長して皇軍の兵となるべき使命を持つてゐたので、保護監督に當る人が捨身道德を體得してゐたらあの悲慘には至らなかつた筈です、兵に召されることは勿體なくも御稜威となるの光榮を擔ふことである と共にこの捨身道德を學ぶ道場に入ることです、兵として大東亞戰爭に勝ち拔き、歸鄕しては捨身道德の實踐者となる、それでこそ道義朝鮮も確立されるのです、この喜びに對して全鮮の內地人が相呼應しお祝ひ獻金をして意義ある仕事の出來るやう協力することを望んでやみません

【寫眞=獻金する成淸興行協會代表】

海軍へ八萬圓 海苔統制會社の誠

『無敵海軍のお蔭で水產業者も御奉公が出來ます』と昭和十四年創立以來"海苔報國"に一路邁進してゐる朝鮮海苔統制會社では、さきの黑役會で海を護り國を護る帝國海軍に赤誠こもれる海軍機獻納資金として八萬圓を獻金することに決定、十五日朝松田社長ほか一名が海軍武官府へ持參、松本大佐を通じて獻納の手續をとつた、なほ同日、京城櫻丘國民校職員兒童一同の國防獻金千百卅圓と京城龍山區元町の天理敎西弘敎會から國防獻金、恤兵金おのおの五百圓づつの赤誠獻金があり同府を感激せしめた

保育指導者講習會

日婦朝鮮本部では勤勞母性の幼兒を保育し婦人の勤勞能率增進を期するために十三日から京城齊藤町三丁目の修養團道場で東京私立幼稚園協會理事山內勇仙氏、城大泉敎授を講師に保育指導者講習會を開催、各道郡支部の保育指導者五十三名は十七日迄五日間獎稔の陋繁期を前に季節保育所の設置、保育奉仕班の編成に關する實際の知識を體得する、なほ十六日午後一時から講習者の作品展と奧藝會を催すこととなつてゐる

上海宣傳委員會設立

【上海十三日同盟】政治經濟文化各般にわたる對華施策の眞意義を中國一般民衆に徹底せしめ、民衆を啓發指導するため上海大使館事務所情報課ではかねて上海宣傳委員會を組織すべく準備中であつたが、十三日大使館事務所においてその第一回の會合を行ひ各種の問題に對する具體的な取扱方法を協議した、同委員會は大使館情報課が中心となり、委員には日本人記者俱樂部、中文那振興、產業共榮會、劇場、敎會その他各種團體關係者があたり、陸海軍當局よりは顧問の形をもつてこれに參加してゐる模樣で、每月一回例會を開催し具體的なる對策研究を行ふこととなつた

"白土"入り石鹼お目見得 先づ勞務者向きの油落しに

白土入りの戰時石鹼がお目見得する……原料油脂逼迫から內地では戰時石鹼としてカオリン入りの化粧石鹼が近く登場することになつてゐるが朝鮮でも鰮不漁や南方からの原油輸送難に對應、かねてベントライト入り石鹼の製造を計畫中のところベントライトも入手難のため油脂統制會朝鮮支部では總督府の諒解を得て鮮內各地に多量に賦存する酸性白土を混入した石鹼を製造せしめることに決定、取敢ず勞務者向油落し用として日曜その他に六百廿五噸の生產を豫定してゐたが、この程出來上つた これは石鹼生地三〇%に硅酸二〇%、白土五〇%の割合から成るもので最終販賣價格も一個六錢程度といふ格安品であり近く鑛山聯盟を通じて先づ石炭關係勞務者へ配給される豫定である なほ統制會支部では引續き第二四半期分として一般化粧用三百六十六噸、油落し用として百廿三噸の生產計畫も進めてゐる

野猪狩り

【長承浦】慶民の榮養山猪を退治し食糧增產に資すべく長承浦邑では警察署と協力して去る十一日から三日間島內の獵師を動員し射擊隊を組織愛國班員らの協力を得て山猪狩を行つたが多大な成果をあげた

强兵育成へ 全鮮柔道指導者鍊成始まる

徵民强兵を目指して一路邁進してゐる講道館朝鮮支部では、本部から佐村指南役、德八段、曾根七段高村六段を迎へて十三日から四日間、朝鮮支部並に警察官講習所で第一回全鮮柔道指導者鍊成會を擧行した、初日午前九時から朝鮮支部で佐村指南役、藤田朝鮮柔道有段者會長以下受講者七十餘名參列して嚴かに開會式を擧行、午後一時から佐村指南役總指揮のもとに裂帛の氣合も銳く場內を壓し熾火と燃える肉彈相搏つの鍊成は火蓋を切つて落した、なほ第二日は朝鮮支部で第三日、第四日は警察官講習所で熱汗を流して亂法、審判法形の理論、技などを練り十六日午後四時に證書授與式で幕を閉ぢる

が入城の佐村指南役は語る

するのは柔道修業に志す者が年々增加するのは大東亞共榮圈のため慶賀に堪へぬ、而も半島靑年の修業に熱心なのは我々專門家も驚嘆する次第で、これはまづお國に役立つやうな身體をつくるとともに精神方面では皇國臣民化の一途を辿つてゐる證據ともいへる、今後は益々、心身を鍛磨して自己完成に邁進し、振武觀念を養つてお召にあづかる日を待たれたい

皇國精神昂揚講演會

【元山】府聯盟では十七日午後一時から府會議室で、皇典研究家相馬由也氏を招聘して皇國精神昂揚講演會を開く

鑛山へ 繰り出す慰問隊 挾間敎授の診療班も廿一日出發

一日からの重要鑛物非常增產運動に鮮內重要鑛山は擧げて增產目標達成に總力邁進しつゝあるが、朝鮮鑛山聯盟では山間僻陬の地にあらゆる苦難と闘ひつゝ地底に働くこれら鑛山戰士とその家族を慰問激勵すべくさきに九日間に亘り黃海道內の各鑛山へ巡回慰問映畫班を派遣したが、さらに十六日から中村郡北、慶蔡郡北、日光各鑛山は慶南道內の三田、菊田、咸安、へ、廿五日からは全北道內の長水鑛山、玉榮へ夫々派遣することになつた、一方京城醫專教授挾間博士を班長とする醫療診療班も廿一日から全南、廿七日よりは慶南へ出發する

なほ慰問演藝隊も十五日京城を振出しに約六十日に亘り江原、咸南北、平南、黃海、京畿の各鑛山工場に巡回公演することになつてゐる

玉碎部隊の合同慰靈祭 來る廿九日執行

【東京電話】北海の孤島に十倍餘の敵の大軍を迎へて死鬪十八晝夜遂に去る五月廿九日全員壯烈な玉碎を遂げた山崎軍神部隊二千數百勇士の合同慰靈祭は、四ケ月目の命日たる廿九日午後から札幌市中ノ島公園において盛大嚴肅に執り行はれることになつた

仁川の海洋訓練

"船はすごい速力で走つてゐるのに全然走つてゐないやうだし、また船は方向に走つてゐるのに西も東も靑い海ばかりで方向もないやうに思はれる、これは僕と腕と舵輪とが三位一體となつて船上入なく船下海なしの境地に至るからだ"との遞送朝鮮近海運輸船舶課長の說明、少年はその若々しい手に舵輪の把手を握つて海に對す、船を御し、海を制せんとするもの丶眉宇のなんといふ美しさであらう、少年はまさしく七洋を睨んでゐるのだ、面舵ツといふ號令とともに船はサツと右に曲る、取舵ツの號令で左折する、眞直ぐに進めるときは"宜候"といふ號令だ、舵拔を敎はる海の子は、明日の皇國興隆を双肩に荷ふ豆提督なのである

【寫眞=舵輪を握る海洋少年團員=村井特派員撮影】

けふの市況(十五日)

證券 底堅 押目狙ひ

前場 歐洲新情勢は未だはつきりしないうちにも大局に對する見透しは略々ついてきた一方過般來法人筋の數次に亘る買出動によつて浮動株も殆ど一掃されたのでこれら銘柄を中心に値頃思ひの買物ぼつ／＼散見され、總じて底堅い商狀を呈した、なほ長期取引は高周波五十三圓、遊仙六十四圓、小林七十四圓五十錢と依然保合範圍の小高下裡に推移し、新味に乏しく商內閑散

後場 (强保合) 引續いて一般に買物乏しく、重點株を筆頭に更生株にも買氣あり、大體强保合を示した

"實物" 小艇り

主力株には小口ながら新規買物道なされ市況はどことなく小艇りした筋があり、人氣はやゝ硬化模樣となつた、四圍の情勢から推して大幅な反撥は期待し難いが、昨日の經過とゝもに國際政局に對する徒らな警戒人氣は薄れてきたのであるから、これ以下の押しは先づ考へられない、主なる出來値左の如し

殖銀六〇圓七▲漢水二二圓六▲國產車一九圓六▲小林七三圓五圓▲高周波五二圓五▲川崎重工五圓▲同新二四圓二▲朝陽二四圓四十八

目立つた動き 川崎重工前六〇圓、同新二四圓五と一圓高▲江南電水電二三圓二と一圓高▲漢江四九圓と復配を見越して一圓高満洲造紙一六圓とこれまた復配見しとして一圓方買はれる

投機的傾向薄れる

今なほ底値觀察の不關を脫しない、既定の事實であるとはいへ、大和の無條件降伏は國際情勢の險惡さに對する大衆の認識を更に深めるものとして何等かの作用力を持たぬとも斷じ得ないであらうが、株價安定策が奏效するためには浮動株の徹底的な整理、投機的な無資力層の排除が先づ要請されねばならない、一部の高値圈、換算期待株のうちには未だなほ採算圈內にあるとはいひ得ない整理未完了のものが殘されてをりはしないか、だとすればこの部面には反撥よりは寧ろたゞ整理の續行が要請さるべきであるかも知れない、だが法人筋の數次に及ぶ買出動並に證據金の擴張によつても裏づけられるやうに一般的に落勢は既にあり得ない採算本位の投資株にに最早安値があるとは思へない、過般來增資期待株の反落をよそに好利廻の內鮮滿の資源株、化學、纖維株が硬調を持續してゐるのは故なきではない目先早急に市況の立直りが期待されぬ現在では投資銘柄を選ぶとなれば利廻採算を本位とした安定株を選ぶほかはない、現に値幅だけを狙ふ投機的な傾向は今後とも日を逐つて薄れてゆくべき筋合にある、時價からみて與げるに足る採算株を參考までに列記すれば次の通りである、結局平々凡々のところに落着くが平凡なこと自體が即ちこの際での投資方針なることを想ふべきであらう

◇安定株	配當	時價	利廻
朝鮮纖維	九分	七八、三	五、七
帝國纖維	八分	六六、五	六、〇
日本窒業	八分	六八、〇	五、八
朝日鐵工	七分	六三、〇	五、五
日本鋼管	八分	六六、五	六、〇
日本製鐵	八分	八四、五	五、三
日立製作	九分	八三、〇	四、八
日本鋼業	一割	八八、五	五、六
◇割高株			
三菱工作	七分	一一六、〇	二、二
田中機械	一割	一二二、五	四、三
日本車輛	一割	一四〇、〇	四、三
國鐵會	一割	一二七、〇	三、九
東京機械	一割	一一八、〇	四、二
東海電極	一割	一二一、〇	四、一

證券(十五日)

現株仲値(十五日十一時調)

大和水軍(2) 村松梢風(作) 中一彌(畫)

汐の路(二)

能島は、東西二丁足らず、南北一丁許りの小島だ。面積としても二町歩かせいぜい三町歩以下であらう。丁字形をなした鍋の柄のところに、もう一つ飛び島がある。それが鯛崎島である。

此の方はもつと小さくて、東西二十間、南北四、五十間位しかない。

どちらも、全島岩石で固められた小山になつてゐて、平地はいささかも無い。

ほんとに、掌の上にでも載つかりさうな、耿たる小島だ。ところが、此の小さな島には驚くべき事がある。

其處には、立派な城が築かれてゐるのだつた。それは普通の城ではなく、海城である。が、矢張り本丸、二の丸、三の丸とあつて、鯛崎島では出丸になつてゐる。鯛崎島と能島との隔たりは僅か十間餘りだが、併し海は深い。そこへ橋を架けて二つの島の連絡を附けてある。

外部——海の方から見ただけでは勿論詳しいことは判らんけれども、城壁、城門、櫓等も完備して、一見堂々たる威容を張つてゐる。只普通の城と異なる點は、水際まで城郭の一部分であることで、島全體が一個の城塞であると云つていゝ。

かういつたやうな城郭が、潮流渦巻く海峽の眞中に竦然として浮かび上つてゐる姿は、只それのみで偉觀であるが、其處には何んとなく龍宮城を聯想させるやうな一種の魅惑的な光景さへも滲み出して來るのであつた。

それは、瀨戶內海の海賊の頭梁、村上大和守武吉、其の子掃部頭元吉の居城だ。

鐵のやうな眞つ黑い色をした岩礁の島の脚が、ちやうど熔岩でも滑り出したやうに、磯の一部分を平らにしてゐる。其の岩礁には無數の穴を穿ち、棒杭を建てゝ引き揚げた船が繫いである。多くは軍船だから、さう大きな船はない。此處は潮流が險しく、地域も狹いから、大船を繫留するには不便だ。萬里の波濤を切つて海外迄乘り出すやうな大船は對岸の宮窪の港に入れてあるのだ。宮窪には村上氏の居館もある。

磯端では數人の船頭らしい漢たちが何か働いてゐた。

ギラ／＼する日光を浴びて、岩の上に立つてゐる少年の、凛々と晴れた姿を、潮風が面白さうに翻つてゐる。屈托のない双つの瞳は黑く瑞々しく、遙か遠方へ注がれてゐた。

と、一つの光景が少年の眼に映じ出した。

燧灘の方から、一艘の船が、帆を揚げた儘、潮流に乘つて瀨戶の口へ差し掛つて來た。すると鯛崎の出島の處にある能島衆の見張所から、忽ち二三艘の小船が矢のやうな速さで漕ぎ出し、彼の船の前へ廻つて進行を遮り停めたのであつた。

小船の中の二三人は素早く相手の大船へ乘り移つて、其の船の者と何事か交渉を始めた樣子だ。

京日歌壇 楠田敏郎選

京城 平田 喜夫
氷雪に戰陣訓を彫りし後突撃したる兵をぞ思ふ

德川 兼森 八重
霧ふかき大同江をゆく卅に吾等は手を振り呼ばえるらしも

京城 宮田 舜
わが生命さやに澄りつつ身勝ぐとき大き霧も霧にかくれぬ

同 岩田 忠政
けふもまた十機戰隊と聞くときしはやる心をとゞめかねつる

龍山 小林 淸雪
須臾の後敵陣頭かむ身機へに呼吸とゝのふる若き兵かも

京日俳壇 高濱虛子選

興南 十川日朗子
北鮮の日日好日や稻の花

咸南 松崎 杜人
音も共に死ぬべかりしを展墓かな

興南 相前 諒々
中閣や手繰り提へし濡れ釣瓶

金泉 伊藤 南汀
銀漢や近く召さるゝ大纛

京城 村田 南島
鶲の啼いて法廷し來ひけり

平壤 鈴木 北濤
たゝなはる雲につゞける棉を摘む

【秋季雜詠】締切九月二十日

新刊紹介

▲楠木正成(楠田敏郎著)作者は日本の文學が若い人や女達だけのものであるのを歎じ"五十になつてから小說はかくべきである"と宣言、三十八歲の時に一切の筆を折り、五十歲になつたとき書き出したのが本書である。前後の二篇千六百枚、戰略家として、勇將としての正成を描くと共に思想家として、勤皇家としての正成、人間としての正成を剔抉して餘すところがない。それから楠木勢に水軍があつたことをこの小說が初めて明かにし、それによつて櫻井驛の訣別に史實的な必然の裏づけをしてゐる。このことはこれまでにいかれたどの楠公傳よりも新しく正確であつたといへる(前篇三圓廿錢、後篇二圓七十錢、大阪市西區肥後橋南詰西大阪ビル內銀行信託社)